

平成29年度 印旛地区教育研究集会

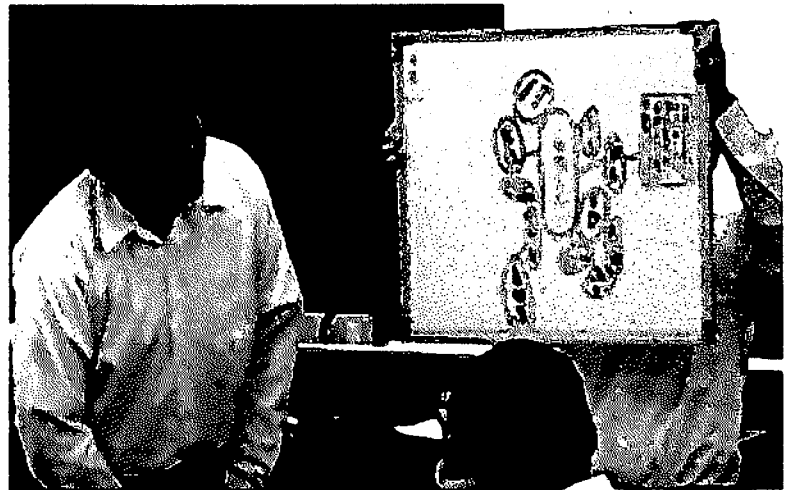
H.29.8.17 (木)

道徳研究部会提案資料

道徳研究主題

「生きる喜びや価値を見出し、よりよい生き方を求める道徳教育」

～道徳性を育む主体的・対話的で深い学びを通して～



栄町立栄中学校

1. 研究主題

(1) 印旛地区教育研究会道徳研究部

「豊かな心をもち、ともによりよく生きようとする児童・生徒を育てる道徳教育」

(2) 栄中学校

【研究主題】

「将来を見通し、共同学習を通して考え、表現できる能力と態度の育成」
～ 基礎的な学び合い活動の実践を基盤として ～

【道徳研究主題】

「生きる喜びや価値を見出し、よりよい生き方を求める道徳教育」
～道徳性を育む主体的・対話的で深い学びを通して～

2. 主題設定の理由

(1) 今日の課題より

平成30年度より「道徳の教科化」が小学校から本格的実施を迎える。この背景には、2011年に起こった大津市のいじめ自殺事件をきっかけとして、学校教育における道徳教育の必要性が一層強く叫ばれるようになったからである。2013年「教育再生実行会議」が道徳の教科化を提言、2014年「中央教育審議会」の答申を経て道徳の教科化が正式決定し「特別の教科 道徳」としてスタートすることとなった。

また、学校教育の充実を通じてよりよい社会を作ることを目指し、新しい学習指導要領が告知された。これまでの中心であった「何を学ぶか」に加えて「どのように学ぶか」「何ができるようになるか」ということが重要視されるようになってきた。学習内容を深く理解し、社会や生活で活用することができるようになるためには、知識と思考力の両方が重要であり「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す「アクティブ・ラーニング」の視点から学習過程の質的改善を目指すこととしている。思考力・判断力・表現力は、知識として教えられて身につくものではない。主体的・協同的な問題発見・解決の場面を経験することで、磨かれていくとされる。

本校では、いじめ、不登校、情報モラルの低下など今日的な教育課題を受け、道徳教育の分野において、主体的な共同学習(他者との学び合い)を通して、生きる喜びや価値に触れ、よりよい生き方を求めることを目指して本研究の主題とした。

(2) 学校教育目標より

「確かな学力を身につけ、心豊かで、たくましく生きる生徒の育成」を学校教育目標としている。本校では、確かな学力を身につけるためには「主体的に学習する意欲」が必要であるととらえ、生徒自身が自らの課題を見出し、課題解決のための様々な手段や方法を選択しながら解決していく力を育む学習過程の工夫に取り組んでいる。また、知識・技能にとどまらず、自らの考えを表現し合い、他者との積極的な交流を通じた言語活動を充実させることで、生涯にわたり主体的に学習する基盤を育むことができるであろうと考えている。

また「豊かな心」の育成において千葉県教育委員会は、道徳教育の目標に「いのちの輝きとつながり」を示している。本校においては、自他の生命の尊重は「思いやりの心」の土台となるととらえ、心豊かで幸せな人生を送るための基礎として、学校の教育活動全体を通じて、道徳教育を推進している。道徳の時間は、中でも道徳性を主体的に養う時間ととらえ、指導を行ってきている。

(3) 生徒の実態より

本校の在籍生徒数は、1学年118人、2学年143人、3学年144人の計405名で、学級数は14学級（特別支援2学級含む）である。学区は、純農村地域とニュータウン地域、昔ながらの商業地域から成り立っている。生徒数の減少が顕著に見られ、平成27年4月に栄東中学校と統合し、町内に1つの中学校となった。生徒は町内4つの小学校から入学してくる。そのうち、3つの小学校は単学級であるため、限られた人間関係の中で6年間を過ごしてきた生徒がほとんどである。そのため、自ら積極的に人と関わることに慎重であったり、仲間と切磋琢磨しながら自らを高めようとしたりすることを苦手とする生徒が多く見受けられる。こうした地域的特性を踏まえ、本校の道徳教育では、共同生活や学び合い活動を通じて生徒が好ましい人間関係を育めるよう努めていきたいと考え、本研究主題を設定した。

3. 研究仮説

仮説1

思考ツールを活用したバズ学習（小グループに分けて討議させその結論、意見をさらに全員で討論する学習方式）を行うことによって、生徒の意見を引き出し、道徳的な価値を深く考え、よりよい生き方を探求することができるであろう。

栄町では、小中共通指導事項の一つに「話し合い活動ができる」ことを目標とし、小学校から取り組んでいる。思考ツールを活用したバズ学習を積極的に取り入れ、「考え、話し、聴く」活動を充実させることで、主体的・対話的で深い学びに繋がり、道徳的な価値を深く考え、よりよい生き方を探求するであろうと考える。

仮説 2

道徳の授業に加え、学校全体でいじめ撲滅の様々な活動に取り組むことで、道徳的価値を深めることができるであろう。

いじめを扱った道徳の授業を全校で行う他、いじめ撲滅スローガンを各学級で話し合い、全校集会で発表したり廊下や階段に掲示したりすることで、啓発ポスターとなると考える。さらに、いじめアンケートの実施や心を育てる名句や名詩を掲示することで、道徳的価値を深め豊かな心を育てる一助となるのではないかと考える。

4. 研究内容

(1) 研究のあゆみ

平成28年度

4月 「特色ある道徳教育推進校」における研究実施計画の提示
道徳教育の研究主題および年間指導計画の提示
各教科との関連を記した別葉を作成

5月 授業研修会に向けた指導案検討会、及び授業準備
「心の教育推進キャンペーン」における実施計画の作成

6月 道徳校内授業研修会（22日）

講師：千葉県教育庁北総教育事務所主席指導主事
成田市立平成小学校長

9月 「心の教育推進キャンペーン」ポスター制作

10月 思いやりの心を育てる取り組み

・「いじめ撲滅スローガン」 作成・発表・掲示
・「心を育てる名句や名詩」 掲示

教科主任会議（道徳と教科の関連性についてのまとめ）

11月 道徳公開授業研修会（11日）

講師：千葉県教育庁北総教育事務所主席指導主事
成田市立平成小学校長

1月～3月

特色ある道徳教育推進校としての研究のまとめ

「心の教育推進キャンペーン」 “心豊かに” 報告書作成

平成29年度

4月 柴町教育委員会指定

道徳教育の推進校として研究の継続



「心の教育推進キャンペーンポスター」

一 鎌田信吉 先生
石川 昭代 先生

(P. 7 参照)
(P. 7 参照)

一 鎌田信吉 先生
石川 昭代 先生

(2) 実践記録

〈仮説1に対する取り組み〉

① バズ学習の活動について

指導案1・2・3・4・5

小グループに分けて討議させその結論、意見をさらに全員で討論する学習方式を様々な場面に取り入れていくことで、「考え、話し、聴く」という話し合い活動の基礎が身につくと考える。

話し合いの人数は、4人くらいだと一人あたりの発話量が増え、司会、記録、発表者、計時係など、役割分担をして何度も話し合い活動を重ねた。少人数のため、人任せにできず自分の意見を必ず言う習慣が身についていった。他の教科でも意図的・計画的に話し合いの場を取り入れており、道徳の授業においても、生徒は話すことや聞くことにだんだんと慣れていった。回数を重ねるたびに生徒同士の人間関係も深まり意見も出しやすくなった。

隊形は、全体で話し合いをする場合はコの字型や円隊形で行った。グループワークでは、向かい合わせや風車型、T字型を行った。最後に全体で意見をシェアする場合には、黒板の方向に全員が向きやすい向い合せ型やT字型がやりやすかった。

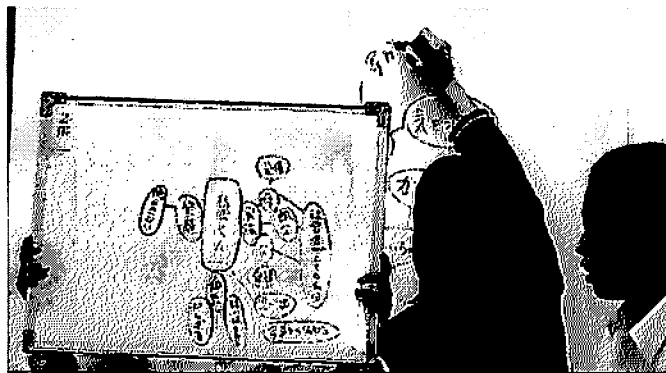
自分と異なる意見と向き合い議論する場を設けることで、互いに自分の考え方や感じ方をより広げたり、深めたり、明確にしたりすることができた。

話し合い活動の場面



- 一人目…話し合い時の司会
- 三人目…発表者

話し合った内容をイメージマップを活用して発表している場面



- 二人目…ホワイトボードの記録係
- 四人目…発表時にホワイトボードを持つ係

② 思考ツールの活用について

指導案1・2・3・4

ねらいに迫るためには、生徒自身の思いや考えを発言しやすくするために、思考ツールを使用した。イメージマップ、座標軸、ベン図、矢印などを活用して、付箋やホワイトボードに書き込んでいった。思考ツールは様々あり、それぞれが違った特徴を持っている。図式化することで視覚的に分かりやすく、積極的に意見も言いやすくなる。さらに、意見を整理しやすく、全体で意見を共有する場面でも、視覚的にわかりやすく有効であった。

資料のねらいにせまり、課題を解決するために、どのツールを使うことが一番効果的なのかを検討した。

授業後の生徒の感想（資料編には、学級通信にて生徒の感想が



〈仮説2に対する取り組み〉 **指導案2・3・5**

1年生…6月の校内授業研修会において、千葉県教育委員会作成の視聴覚教材「いつのまに…」**指導案2**を用いて授業を展開した。内容項目番号(B-8)「友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに、異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと。」をねらいとしている。些細な嫉妬やすれ違いが、大きないじめに展開していく様子を視聴することで、自分たちのことに置き換えて考えることができた。

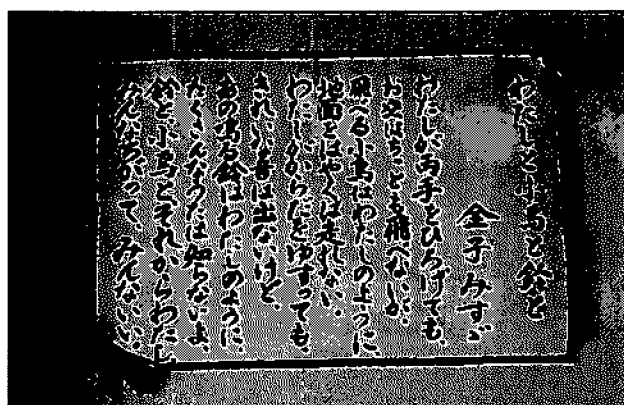
2年生…11月の校内授業研修会において、千葉県教育委員会作成の視聴覚教材「手のひらの小さな世界」を用いて授業を展開した。内容項目(B-6)「思いやりの心をもって人と接するとともに、家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、人間愛の精神を深めること。」をねらいとしている。生徒にとって身近な携帯電話を通してトラブルが生じてしまった際にどうすればよいのか、相手の立場に立って考えることができた。

3年生…6月の校内授業研修会において、「いじり」と「いじめ」の違いを考える授業を行った**指導案3**。この教材は(C-11)「正義を重んじ、誰に対しても公正公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努めること。」をねらいとしている。普段の生活の中では、「いじり」を見たり聞いたり、または自分自身も何気なく行ったりしていて、常に身近にある存在であることを意識させた。また「いじり」と思っている言動が、相手や場面、状況によっては「いじめ」と感じる人がいることや、「いじめ」に発展していく可能性もあることを学ぶことができた。

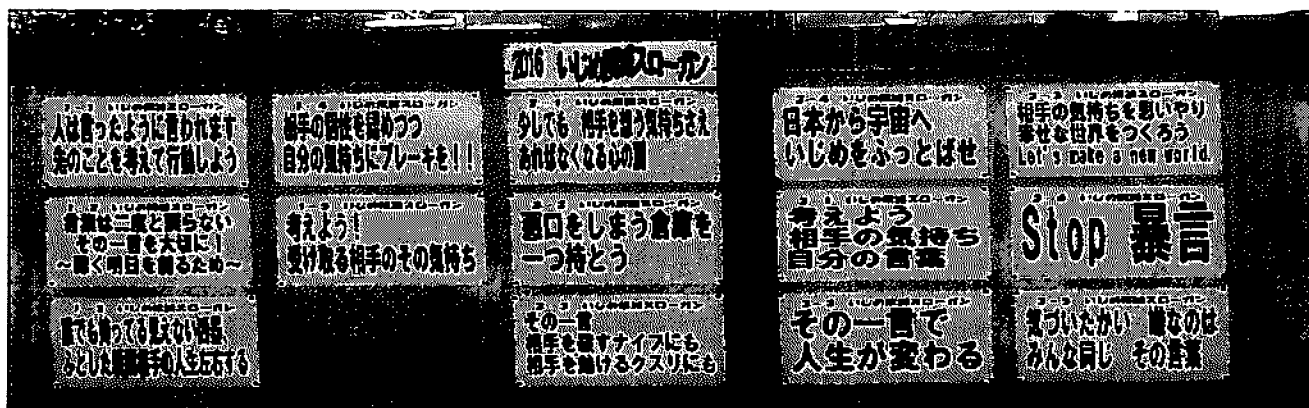
全校…不登校やいじめ、自殺等の問題が発生することを踏まえて全校生徒一斉にいじめアンケート調査を学期に一度行っている。いじめスローガン作成にあたっては、資料編 P.39

のようなアンケートを行い、その結果を受けて「いじめ撲滅スローガン」の作成にとりかかった。各学級より出されたスローガンは、各教室と階段のステップに掲示した。また、生徒会本部役員によって給食時の放送で呼びかけたり、全校集会で発表したり、生徒が互いに意識できるようにした。さらに、校内に心を育てる名句や名詩を掲示することで、生徒の心の成長の一助とした。

【校内の昇降口や廊下などに掲示した名句や名詩】



【いじめ撲滅スローガン】



〈補助となる取り組み〉

① 映像教材を使用した実践 指導案 1・2・3・4

千葉県教育委員会が作成した映像教材「いつのまに…」内容項目番号(B-8)友情の尊さ・信頼と「手のひらの小さな世界」内容項目番号(B-6)思いやり・感謝、「たったひとつのたからもの」と「家族のはなし」(いずれも内容項目番号(C-14))家族愛・家庭生活の充実、NHK Eテレ「いじめノックアウト～いじりが暴走するとき」を活用した自作資料「そのいじり、大丈夫？」(内容項目(C-11))。映像教材を積極的に取り入れることで、音声や映像と共に資料の背景を分かりやすく生徒に伝えることができた。視覚的に提示することで、臨場感が高まり、生徒の素直な考えや本音を引き出すのに効果的

であった。しかし、映像の視聴時間とねらいに迫るための発問と意見交換、生徒の変容まで考えると時間配分の調整が大きな課題である。

②ゲストティーチャーを活用した実践 **指導案1**

授業の途中でゲストティーチャーを招き、T2で授業を行うことによって授業に臨場感が出た。ゲストティーチャーが、主人公の母親役となり、天国にいる主人公に向けて手紙を朗読する場面では、まるでそこに2人の登場人物が存在するような雰囲気になった。ねらいにせまる実に効果的な演出であった。ゲストティーチャーが、主人公の母親役となり、天国にいる主人公に向けて手紙を朗読することにより、更にねらいにせまることができた。

③家庭や企業の協力を得た実践 **指導案1**

各家庭に「家族」に関する授業を行う旨を伝え、子供に向けて手紙を書いてもらうよう協力を求めた。主に、子供が生まれた時のお家の方の気持ちを書いてもらうよう依頼した。生徒の目に触れないように書いてもらった手紙を、当日まで担任が保管した。保護者からの手紙は、授業終末に自分自身のこととして捉えさせ、ねらいに近づけるためにはとても効果的であり、心の奥に響く授業づくりができた。しかし、家庭に協力を得る際には、一人一人の家庭環境にも配慮することが必要である。様々な形の「家族」が存在する中、協力を仰ぐことが難しい家庭もある。そういった場合の手立てや方策を十分に考慮した上で依頼や授業を組み立てることが大切である。

YouTubeの映像では字幕のスピードが速く、中学1年生には理解しにくいと感じたため、保険会社に連絡をしてCM映像のDVDを郵送していただいた。中学校の道徳の授業で使用する旨を伝えたと、快く許可していただくことができた。

5. 成果と課題

(1) 研究の成果

〈仮説1について〉

- ・アクティブ・ラーニングの手法を積極的に取り入れたことで、話し合い活動を中心とした授業のための基盤づくりができた。また、道徳の授業のみではなく、様々な場面で「考え、話し、聴く」という話し合い活動の基礎力を身につけることができた。さらに、バズ学習を行ったことで、活発な話し合いが展開され、よりねらいに迫ることができた。小人数の話し合いであるため、一人一人が意見を言いやすいことや互いの意見を影響し合いながら考えを深めやすいことがわかった。回数を積み重ねることで話し合いや発表の仕方も徐々に上達していった。互いの考えを交流させることで、さらに個の考えを広げたり、深めたりすることができたのではないかと思う。
- ・思考ツールのベン図やイメージマップなどは、図式化することで、意見をまとめたり整理したりしやすかった。また、ホワイトボードや付箋の活用に関しても、貼ったり剥が

したり、書いたり消したりすることが容易にできるため、言葉だけよりも記憶に残りやすく、発表の際の提示などにも効果的で、全体で意見を共有する際にも役立った。

〈仮説2について〉

- ・学校全体で「いじめ」に向き合い、取り組むことで、生徒の意識を高めることができた。
- ・道徳の授業に加え、生徒会主催の集会や放送等で発表することにより、生徒主体の発表として、他学級・他学年集団の考え方に触れることができた。また、廊下や階段に掲示することで、日常的ないじめ防止の啓発となった。
- ・心を育てる名句や詩などを廊下に掲示し目にするすることで、豊かな心を育てる一助とすることができた。

(2) 研究の課題

〈仮説1について〉

- ・個で考え、仲間と考えを深め合い、全体に発表、共有、さらに個に戻って考える流れは、時間配分の設定に苦勞した。終末に、一人一人が考えたことを振り返る時間や、互いの感想を聞き合う時間をしっかりと確保できるように時間配分の工夫が大切である。
- ・話し合い活動の時間を充実させるためには、事前アンケートを十分に分析し、ねらいに迫るための思考ツールを活用することが大切である。
- ・終末に小グループの意見を全体に返す場面では、授業者がまとめてしまうのではなく、生徒が気づいたことを言わせることが大切である。
- ・道徳の授業以外でも学び合い活動を中心とした授業や思考ツールの活用を積極的に取り入れていくことが大切である。
- ・生徒の実態把握における授業用アンケートは、内容や取り方について、学級ごとであるのか、全校であるのか、年度の始めと終わりでの比較など、計画的に行うことがのぞましい。また、一人一人が、授業前と授業後でどのように変わったかが分かるように授業後にも事前アンケートと同じもので、変容を見ることが大切である。

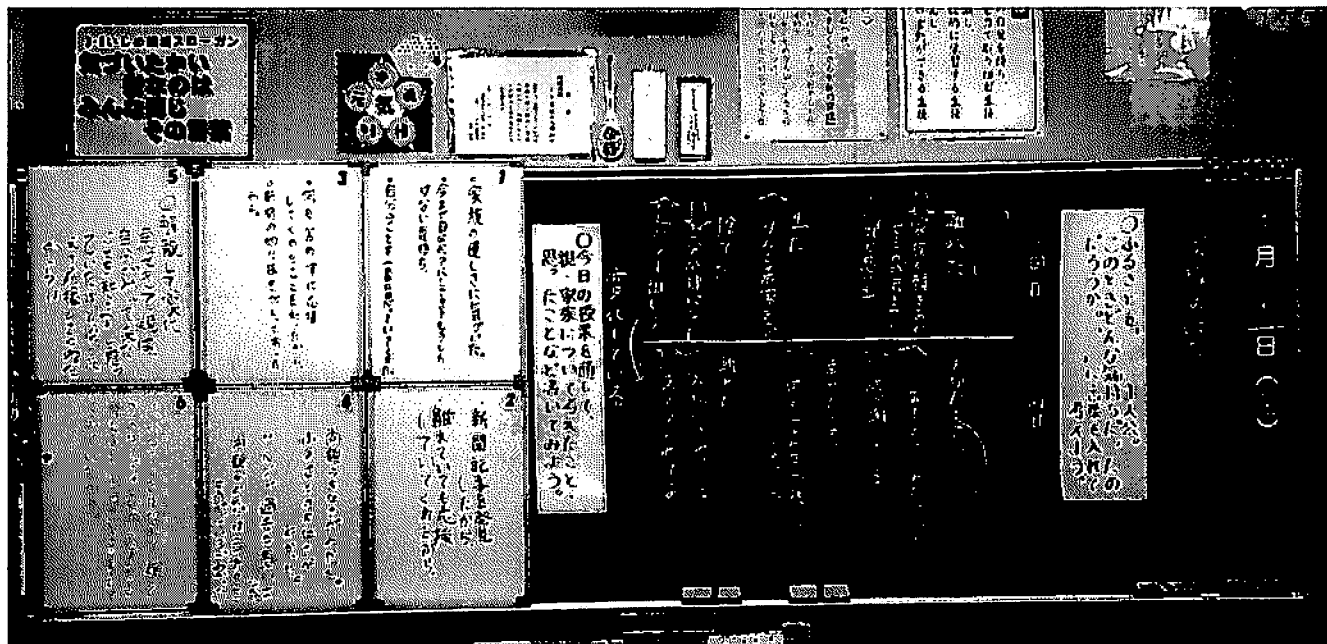
〈仮説2について〉

- ・学校全体で同じ課題に向き合い、いじめ防止の啓発となったが、今後も学年ごとの実態に応じて、段階的、計画的に継続していくことが大切である。

〈その他〉

- ・特別支援学級の生徒が交流学級にいる場合は、指導案に配慮事項を設けたり、授業を組み立てたりする必要がある。
- ・教科化に伴い評価の観点からも、学校全体として道徳ノートを活用することで、生徒個々の記録を残し、1年間さらに3年間をかけた生徒の変容を見ていくことが大切である。

資料編



目次	資料名 (内容項目番号)・出典	ページ
指導案 1	「たったひとつのたからもの」(C- (14)) DVD「明治安田生命 CM」	P. 1 ~ 9
指導案 2	「いつのまに・・・」(B- (8)) DVD 千葉県教育委員会：道徳教育映像教材	P.10 ~ 16
指導案 3	「そのいじり、大丈夫？」(C- (11)) NHK 番組「いじめノックアウト」いじりが暴走する時	P.17 ~ 24
指導案 4	「家族のはなし」(C- (14)) DVD「鉄拳：パラパラ漫画作品集 第二集」	P.25 ~ 31
指導略案 5	「いじめ撲滅キャンペーン」スローガン作成	P.32 ~ 34
他教科との関連(月別)		P.35 ~ 37

指導案 1

内容項目名	家族愛，家庭生活の充実（内容項目C－（14））		
資料名	「たったひとつのたからもの」 （出典「たったひとつのたからもの 息子・秋雪との六年」加藤浩美・著） 「明治安田生命CM」 「言葉にできない」小田 和正		
学校名	栄町立栄中学校	指導者名	三浦 絢子

1 学習指導案

中学校 1年 4組 道徳学習指導案

平成28年11月11日（金） 5校時

（1）主題名

家族愛，家庭生活の充実

（2）ねらい

自分が家族の一員として，両親や兄弟から深い愛情を受けて大切に育てられた「たったひとつの宝物」であることに気付かせる。また，自分にとっても家族はかけがえのない「たったひとつの宝物」であり，互いに感謝し慈しみ合う大切な存在であることを考えさせる。

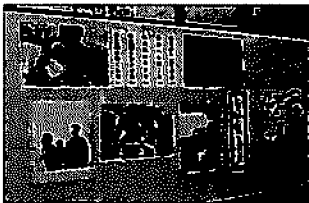


（3）主題設定の理由

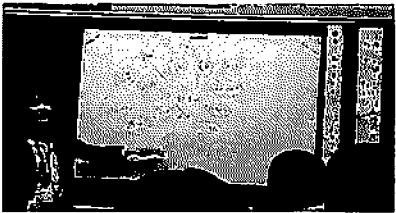
本主題は，内容項目C「主として集団や社会とのかかわりに関すること」の（14）家族愛，家庭生活の充実について価値をおいており「父母，祖父母を敬愛し，家族の一員として自覚をもって充実した家庭生活を築くこと。」をねらいとしている。核家族化，少子化の進む今日では，家庭で兄弟の面倒をみたり，家族で食卓を囲んで食事をしたりするなど，家族と過ごす時間が少なくなってきた。また，中学生ともなるとちょうど反抗期の真っただ中で，親との意見の食い違いから衝突したり，家族がけむたい存在になったりする頃でもある。時には，家族の自分に対する愛情を理解しながらも，自分の気持ちに素直になれず，空回りすることもある。

本資料は，生まれて間もなく「ダウン症」と告知された一人の男の子が，家族と共に過ごした6年間の描かれている。命の危険に見舞われながら，いくつもの壁を乗り越えていく「家族」の姿に共感させる。両親の深い愛情に見守られながら精一杯生き抜く姿を通して「家族」とは何かについて考えていく。家族の存在に改めて感謝し，これからもより一層家族を愛し，大切にしていくなためきつかけにしたいと考え，本主題を設定した。

（4）展開

過程	学習活動と主な発問	予想される反応	教師の支援
導入 (3)	1 今日家族について考えます。「家族」と聞いてどんなイメージをもちますか。事前に行ったイメージマップを見る。 2 事前に紹介しておいた加藤秋雪君の人生を振り返る。 (秋雪君の説明)	・「家族」に対するイメージは，人それぞれ違う。 ・マイナスのイメージをもっている人も多い。	・イメージマップを貼る。 ・本時の学習に関心をもたせる。 ・本時の資料への興味・関心を高めるために，秋雪君の写真を掲示しながら，どん

	<ul style="list-style-type: none"> ・生後一ヶ月で「ダウン症」と重い「心臓病」と診断される。 ・余命1年の宣告を受ける。 ・これから生活する上で気を付けないといけないこと。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 長時間大声で泣かせない おんぶはしない 母乳をあげない 風邪をひかせない 虫歯を作らない </div>		<p>な人生だったのかを振り返らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼い頃からたくさんの制限があり，本人も家族も大変な状態にあったことを理解させる。
<p>展開 (35)</p>	<p>3 秋雪君とおじいちゃんの話 を聞く。</p> <p>○お母さんはおじいちゃんの入 院する病院に，秋雪君を連れて行 くでしょうか，それとも連れて 行かないでしょうか。それはど うしてですか。</p> <p>4 9.0秒ほどのCM映像を見て 話し合い，発表する。</p> <p>◎秋雪君のイメージマップはどの ような形になるでしょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">  </div> <p>・グループごとに発表する。</p> <p>5 ゲストティーチャーを招き， お母さんの書いた秋雪君への手 紙を朗読してもらう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・連れて行く。 ・連れて行かない。 ・おじいちゃんに最後は会 わせてあげたい ・秋雪君に病気がうつらな いか心配。 <p>秋雪君 ⇒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おじいちゃん—愛情 ・大切—両親 ・写真—思い出 ・笑顔—幸せ ・ダウン症—余命 ・病気—苦しい <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">  </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・おじいちゃんと一緒に写真 を掲示しイメージをもたせ る。 ・おじいちゃんも，秋雪君も 両方とも家族の一員であり ，どちらも大切にしたいと 思い悩むお母さんの気持ち に触れさせる。 ・お母さんの撮った写真から 家族の秋雪君に対する愛情 を感じとらせる。 ・4人班を作る。 ・自分の意見を言ったり，仲 間の意見に対して質問など をしやすくしたりするため ，T字型にする。 ・話し合った内容をホワイト ボードにまとめる。 ・仲間の意見や考えを聞くこ とで自分の考えを深める。 ・大きなマップを作成してい く。 ・4人班を元の形に戻す。 ・秋雪君が「家族」に支えら れていたと同時に，秋雪く

			<p>んもまた自分の「家族」を支える存在であったことに気付かせる。</p>
<p>終末 (12)</p>	<p>6...<u>両親からの手紙を読む...</u></p> <p>7 今日授業を通して感じたこと、考えたことを書いて発表しましょう。</p> 	<p>・口うるさくてけむたい存在だな、と感じる時もあるけれど、家族がいるから今の自分がいるんだな。</p> <p>・ありがたい存在だな。家に帰ったら「ありがとう」って言おう。</p> <p>・これからも大事にしていきたい。</p>	<p>・手紙を配付する。</p> <p>・<u>事前に書いてもらった家の人からの手紙を読むことにより、自分自身のこととしてとらえさせる。</u></p> <p>・秋雪君とその家族の6年間を通して、自分の家族について考える。自分も家族にとって「たったひとつの宝物」であると同時に、自分にとっても家族がかけがえのない「たったひとつの宝物」であることを考えさせる。</p> <p>・生徒の「家族」に対する変容を見る。</p>

(5) 他の教育活動との関連

- ・技術・家庭科の授業において、1年生の1学期に「家族・家庭と子どもの成長」という単元で家族について考える。自分自身の成長に、両親や兄弟、祖父母などの家族がどのような思いで関わってきたのかを学ぶ。
- ・卒業式前の学活の時間に、感謝の気持ちを手紙に書いて家族へ贈る。

2 事後検討会

(1) 授業記録

T 今日は「家族」について考えます。「家族」のイメージは人それぞれ、みんな違いました。この時間は「加藤秋雪君」の家族を中心に見て考えていきましょう。この子には、お父さんとお母さんとおじいちゃんがありました。生まれてすぐダウン症と心臓病という重い病気を抱えることになりました。守らなければならないことも5つありました。余命1年という宣告も受けました。これら聞いたお父さんとお母さんはどんな気持ちだったと思いますか。

S ショック。

S 悲しい。

S なんでこの子が？

T そうだね。この子には、お父さん、お母さんのほかにおじいちゃんがありました。たった一人の孫で、よく会っていたんだけど、ある時おじいちゃんが体調を崩して入院することになりました。会えない日々が続く中、おじいちゃんが鎮静剤の使用を拒んでいることを聞かされます。これを拒

- T どうして？
- S 大事な秋雪君が自分の病院に来て、それが原因で秋雪君が病気になって死んじゃうのはおじいちゃんだって嫌がると思う。だから連れて行かない。
- S 秋雪君が病気になっちゃうのは一番ダメなことだから。
- T お母さんは、とても迷った結果、秋雪君を病院に連れて行きました。さて、ここにおじいちゃんと秋雪君の写真があります。これはお母さんが撮りました。これまで、他にも多くの写真をお母さんが撮っています。その一部を見てみましょう。
- ...(9.0秒のCMを見る)...
- T 秋雪君の写真を撮り続けたお母さんの、どんな気持ちが伝わってきましたか？
- S 秋雪君に対する想いが伝わってきました。
- S 愛情が伝わってきました。
- S 思い出をたくさん残したいな、という気持ちが伝わってきました。
- S 秋雪君と一緒にいられる時間を大切にしようという気持ちが伝わってきました。
- T 秋雪君のイメージマップはどのような形になるでしょう。班を作って始めてください。
- ...(イメージマップを作成する)...
- T それでは1班から発表をお願いします。2班、3班・・・8班
- S 秋雪君から「笑顔」「家族」「思い出」「大切」「愛されている」「感謝」「宝物」などのイメージが出ました。
- T お母さんが、秋雪君の本を書いています。題名が「たったひとつのたからもの」といいます。イメージマップからも「宝物」という言葉を出してくれた班がありました。その本の中でお母さんが秋雪くんにもメッセージを書いていますので、渡辺先生に朗読してもらいます。
- ...(ゲストティーチャーの朗読を聞く)...
- T 今の手紙がお母さんから秋雪くんへのメッセージです。次は皆さんの番です。今日は皆さんのお家の方から、皆さんへ手紙を預かっています。机を元に戻してください。
- ...(配付された手紙を読む)...
- T 今日の授業を通して感じたこと、思ったことを書いてみましょう。

(2) 授業の感想 (生徒の感想)

- ・普段何気なく一緒に暮らしている家族がなんだか今日だけ特別な感じがしました。
- ・いつも親には反抗してばかりだけれど、少し、感謝の気持ちを持って生活しようと思いました。私もお母さんみたいに格好良く根性がある、優しいお母さんになり、子供を支えたい、と思いました。
- ・母さん、父さん、じいちゃん、ばあちゃんは、どんな時も自分の味方だって思いました。うるさい、と思うこともあるけれど、全力で応援してくれる家族が大好きだと思いました。
- ・パパとママはいつもお姉ちゃんや弟ばかり「良い子」だと言って、私だけ怒られます。でも、私は、生まれる時に熱があったことや小さく生まれたことなどを手紙で知って、びっくりしました。今は、昔みたいに恥ずかしがって人の後ろに隠れたりするようなこともなくなり、友達と元気よく暮らすことができます。親に感謝したいです。
- ・今日の授業を通して「家族」に対しての感じ方が少し変わったような気がします。前の授業でやった「家族」についてのイメージマップで班のみんなが『優しい』とか『支えてくれる』などのプラスの意見を言っていました。でも、私は、はっきり言って『ウザイ』『うるさい』『うっとお

しい』などのマイナスのイメージしかなく、みんなと違うなと感じていました。秋雪君の家族が秋雪君を宝物のように育てていることに感動しました。また、母からの手紙を読み、自分が幼い頃、姉や兄が自分にしてくれたことなどを初めて知りました。末っ子で何かをやってあげるより、何かをやってもらうことの方が多く私は、このままでいいのかな、と考えさせられました。

- ・イメージマップで母や父の悪口ばかり言っていたことに、手紙を読んでとても後悔しました。「家族」の大切さを知りました。家での態度をもう一度考え直そうと思いました。
- ・自分は今、とても幸せに生きています。ここまで幸せだと思えるのは育ててくれた親がいたからで、その苦勞が分かりました。
- ・秋雪君のお母さんの思いと、母から私への思いが重なっていて驚きました。親の愛情は底をつかないし、色々な形で表されるのかと思うと、何か照れくさい感じもしました。私も親から受け取った愛を返せるようにしたいと思いました。
- ・「家族」に大事にされることをすごく嬉しく思いました。
- ・私はおなかの中で成長できなくて1900gで生まれたなんて初めて知りました。お兄ちゃんたちも交代で面倒をみてくれていたなんて…。1900gから、こんなに成長したから、これからはたくさんの思い出を母さんにあげたいと思います。

(保護者の感想)

- ・DVDや家族の手紙等、感動する場面がたくさんあって、涙が出そうになりました。
- ・手紙を読んでいる子供たちの表情が、何とも言えず良かったです。
- ・自然に拍手が起こったり、意見を自由に言ったり書いたりする様子から、クラスの生徒の仲の良さを感じました。
- ・途中で別の先生に手紙を読んでもらったところが、雰囲気があり「じわっ」ときました。
- ・帰ってきた子供が素直になり、生まれた時のことを聞かれたりして温かい雰囲気になりました。

3 本事例の活用に関する留意点

(1) 授業形態について

- ・ホワイトボードを活用することで、個々の意見をグループや全体で共有しやすくした。
- ・グループワーク活動の時には、4人組T字型隊形を作ることにより、自分の考えを伝えやすくし、仲間の考えを聞き入れやすくした。また、少人数で発表することにより、疑問に思ったことや理由等を尋ねやすくした。

(2) 家庭への協力

各家庭へ「家族」に関する授業を行う旨を伝え、子供に向けて手紙を書いてもらうようお願いした。手紙には、主に本人が誕生した時のお家の方の気持ちを書いて封をしてもらい担任が保管した。授業では終末に読ませることで、自分たちの家族のこととして捉えさせた。

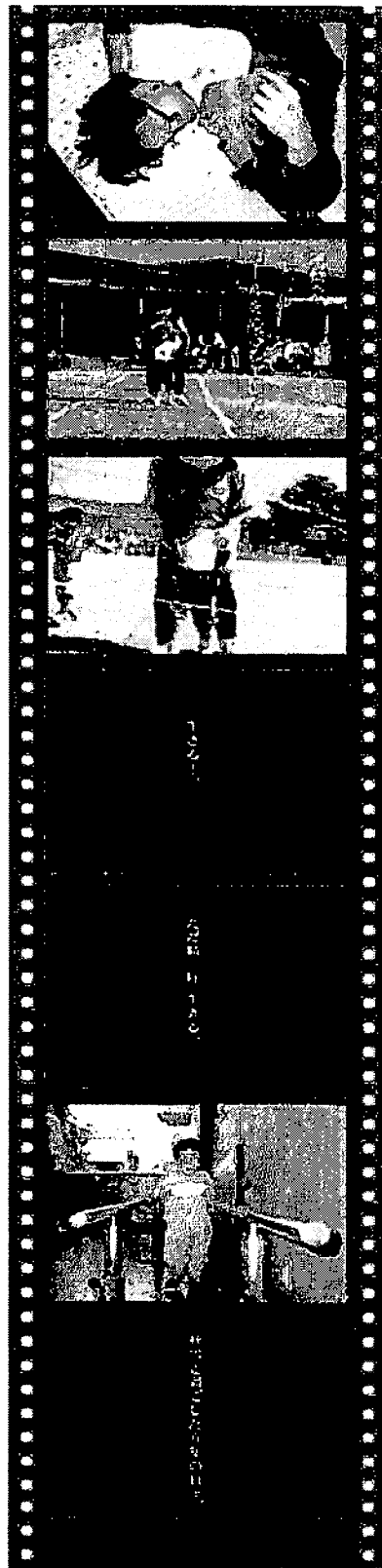
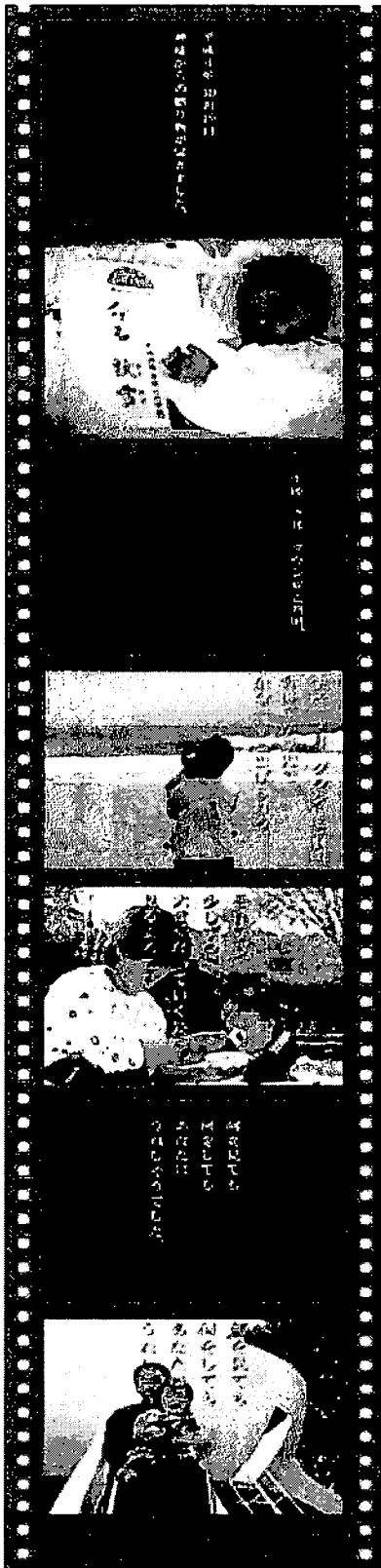
(3) 保険会社への依頼

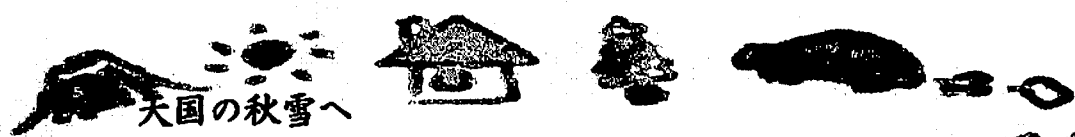
Youtubeの映像では字幕のスピードが速く、中学1年生には理解しにくいと感じたため、明治安田生命に連絡をしてCM映像を郵送してもらった。中学校の道徳の授業で使用する旨を伝えたところ、快く許可していただくことができた。

(4) 病気の説明

本資料は、ダウン症という病気を持って生まれた男の子が家族とともに過ごした6年の日々を題材にしている。そのため、病気について理解させる必要があった。事前の授業において病気の説明をし、加藤秋雪君についても紹介し、本時では3分間の導入時に確認するだけに留めるようにした。

明治安田生命 CM



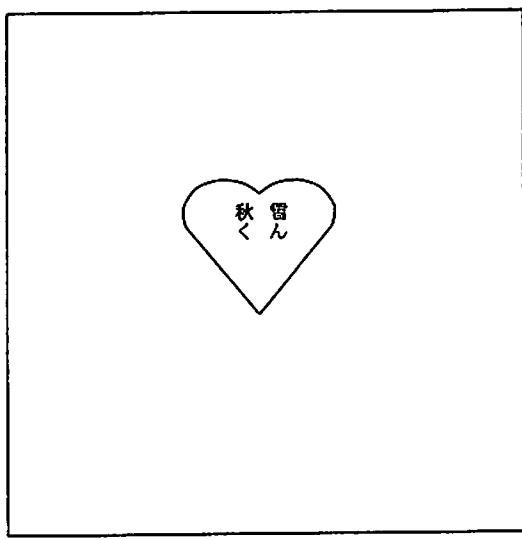


天国の秋雪へ

「新しい年も 三人一緒に迎えますように」ママの
 ささやかな願いが神様にとどいたのかな？年が明けて三
 日間だけ、パパと三人一緒に過ごすことができたね。
 秋雪 - あなたは一日の生活の中で何回笑ったのかな？
 夜、眠る前に一つでも二つでも微笑みとともに思い出せ
 ることがあったでしょうか。秋雪がご飯を食べる、秋雪
 がトイレに行く、秋雪が怒る、泣く、笑う、眠る・・・
 生きることが大変で、つらい時もたくさんあったね。
 でもママはそれ以上に「幸せ」に気づかされる瞬間が毎
 日の生活の中にあふれて、その一つ一つが「幸せ」だっ
 たよ。秋雪と共に過ごした六年二ヶ月、秋雪は、私たち
 に抱えきれないくらい、たくさんの「幸せ」を残してく
 れたね。ママやパパのこれからの人生を充分支えてくれ
 るほどの大きな大きな「幸せ」を・・・秋雪、ありがとう。

今日の授業を通して感じたこと、考えたことを書いてみましょう。

お家の方からの手紙を読んでみましょう。



秋雪くんのイメージマップは、どのような形になるでしょうか？

お母さんは、おじいちゃんの入院する病院に秋雪くんを連れて行ったのでしょうか？それは、どうしてですか？

写真1

写真2

- ・ 大声で泣かせない
- ・ おんぶはしない
- ・ 母乳はあげない
- ・ 風邪をひかせない
- ・ 虫歯をつくらない

板書計画
 たったひとつのたからもの
 加藤 秋雪くん

指導案 2

第1学年4組 道徳学習指導案

指導者 三浦 絢子

- 1 主題名 内容項目名 友情, 信頼 (内容項目番号 B- (8))
(資料名「いつのまに・・・」 出典「道徳教育映像教材」千葉県教育委員会)

2 主題設定の理由

(1) 価値について

道徳の学習指導要領 B- (8)は「友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに、異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと。」をねらいとしている。また、県教育委員会では、千葉県の道徳教育の主題「『いのち』のつながりと輝き～大切なあなた、大切なみんな、大切な自然と地域、そして大切なわたし～」のもとに、道徳教育の充実を図るため、映像教材や資料を作成している。「いつのまに・・・」もその中の一つで、視点(3) 支え合う喜びの「思いやりのある態度を持ち、行動をする」「周りの人との信頼関係を築く」を受け、子供たちのやりとりの中でいつのまにか始まってしまったいじめについてのストーリーを題材としている。

「友情の尊さ」は、相手を敬愛する気持ちに支えられ、互いを認め合い信頼し合う関係があってこそ、理解できることである。中学生は、せっかく築いた友情を、小さな誤解をきっかけとした感情の行き違いによって、大きな喧嘩や不登校という問題に発展させてしまうことがある。特に中学校に入学したばかりの1年生においては、小集団から大きな集団への環境の変化に対応していく中で、人間関係を築いていくことに悩む生徒も出てくる。また、始まったばかりの部活動に対する意識も高いこの時期に、部活動内で起こるいじめについてのストーリーを扱うことは、友情の尊さを理解したり、互いの成長を願うことで高め合う関係を築いたりする上で効果的であると考える。心から信頼し高め合う仲間作りに専念し、その価値を見出す力を養いたいと考え、本主題を設定した。

(2) 生徒の実態について (男子15名 女子14名 合計29名)

自分の役割に責任を持って取り組むことのできる誠実な生徒が多い。男子は比較的素直でやさしい。一部には言動が幼く、仲間とのトラブルにつながる生徒や、人間関係を築くことが苦手な生徒がいる。女子は落ち着いていて、良好な人間関係を築いている。建設的な意見を持っている生徒もいるが、全体的におとなしく意見や気持ちを表現することを苦手とする生徒が多い。また、教育相談からは人と関わることにより傷つくことを恐れ、あまり深入りしないようにしている等、人との付き合い方に悩んでいる生徒がいることも分かった。生徒の実態をとらえるために「友達」に関するアンケートを実施した。

1. あなたは、今までに友達とトラブルになった経験がありますか。

はい 25名 いいえ 4名

●どんなトラブルですか。

- ・言葉による言い合い 15名
- ・ケンカ 10名
- ・仲間はずれ 6名
- ・からかい 5名
- ・無視 5名
- ・陰口 3名
- ・殴り合い
- ・自分勝手な行動
- ・誤解
- ・嫌がらせ

●あなたはその時どんな気持ちになりましたか。

- ・イライラした(ひどい・悔しい) 10名
- ・寂しい, 悲しい 9名
- ・嫌な気持ち 7名
- ・後悔(失敗した・申し訳ない) 7名
- ・巻き込まないでほしい 1名
- ・後から大切な存在であることに気付いた 1名

●その時あなたはどんな行動をとりましたか。

- ・謝った 11名
- ・無視した 8名
- ・何もできなかった 5名
- ・物にあたった 1名
- ・人に相談した 1名
- ・直接話をしにいった 1名

●あなたは友達の言葉や態度に傷ついた経験がありますか。

はい 11名 いいえ 18名

●あなたは自分の言葉や態度で友達を傷つけてしまった経験がありますか。

はい 14名 いいえ 15名

2. あなたは友達に注意したり, 忠告したりしたことがありますか。

はい 4名 いいえ 25名

●どういう時にどんなことをしてあげましたか。

- ・仲間はずれをしようとしている友達に「たくさんいた方が楽しいじゃん。みんな
で遊ぼうよ」と言った。
- ・友達の悪口を言っていたので「陰口はやめなよ」と注意した。
- ・ルール違反を注意した。

3. あなたには信頼できる友達がありますか。

はい 26名 いいえ 3名

4. あなたにとって「本当の友達」とはどんな存在ですか。

- ・何でも話せる, 本音のつきあい 14名
- ・信頼できる心の支え 11名
- ・時には喧嘩もするが元に戻れる存在 5名
- ・一緒にいて楽しい 5名
- ・わかってもらえる
- ・どんな時も信じられる裏表がない
- ・いざという時にアドバイスをくれる
- ・自分のことのように喜んでくれる
- ・一緒に頑張り, 互いに高め合える仲
- ・互いに気を使わない
- ・どんな時も励ましてくれる
- ・互いの良さも悪さも分かり合える

- ・秘密を守れる間柄
- ・類似点がある
- ・仲良し
- ・いつも一緒にいる人

アンケートの結果から

どの問いに対しても男女の差はあまり見られなかった。友達とトラブルになったことがあるか、という質問に対して25名が「はい」と答えた。また、その原因として、言葉による言い合いや仲間はずれ、からかい、無視など生活の中で日常的に起こっていることが分かった。「本当の友達」とはどんな存在か、という質問に対して『何でも話せる、本音のつきあいができる存在』と答えた生徒が14名と最も多かった。また、『時には喧嘩もするが元に戻れる存在』と答えた生徒が5名いた。しかし「一緒に頑張り、互いに高め合える存在」等の、互いの成長を願う関係について答えた生徒は少数であった。また、秘密を共有したり、いつも一緒にいたり、似ているところがあったりする等、表面的な部分のみを重要視する考えも見られた。

(3) 資料について

中学生になると、ものの考え方や価値観を共有し、心を通じ合える友達を求めるようになる。しかし、どんなに仲の良い関係であろうと、目指す方向性の違いから、時にはお互いに違和感を持ち、意見の対立が生まれることもある。また、機嫌を損ねないように相手に従ったり、自分が傷つくことを恐れるあまり、最初から一定の距離をとった関係しかもたなくなったりする者も出てくる。

本資料では、バスケットボール部のレギュラーとして活躍するミキの言動が、他の部員の反感を買い、部活動やクラスから孤立していく。親友であった主人公ユリは、ミキを心配するものの、他の部員と一緒にいることで、いつのまにか、「いじめ」に加担していることに気付いていく。

(4) 指導観

本学級には、自分に直接かかわる数名の人とのみ話をしたり、傷つくことを恐れて深く人と関わろうとしなかったりするなど、臆病で消極的な生徒が多い。本時の学習では、自分にとって「本当の友達」とは何かを考え、友達の存在の大きさや大切さに気付かせたい。また、思春期の中学生の多くが人間関係に悩むことから、友情の尊さや信頼することの素晴らしさについて学んでいきたい。

本校は「将来を見通し、共同学習を通して考え、表現できる能力と態度の育成」を学習の研究主題としている。また、人前で自分の意見がなかなか言えない生徒も意見が出しやすいように、少人数のグループで話し合うアクティブラーニングを取り入れることで授業を活発にしていきたいと考えている。本時は、後悔や迷いの中で悩んでいるシーンと、ようやく行動を起こそうとしたシーンを中心に、イメージマップ上で意見を整理しながら「本当の友達」とは何なのか、深く掘り下げて考えていく。その後、全体で意見をシェアし、自分の立場を守りたい気持ちと、大切な友達を守りたい気持ちとの間で葛藤させる。きれいごとを言っているだけではなく、実際に周囲の目を気にしないで、大切なものを守るための行動ができるかどうか、を考えていきたい。また、アンケート結果より「本当の友達」

を、『時には喧嘩もするが元に戻れる存在』と答えた生徒が5名おり、DVDのユリとミキのように気まずい仲になりながらも、大切に思う存在が「本当の友達」であることを感じている生徒が数名いることが分かった。しかし「自分の間違いを忠告してくれる存在」や「相手の間違いを忠告してあげられる存在」等の、互いの成長を願い高め合う関係について答えた生徒は少人数に留まった。本時は、資料を元に、「本当の友達」とはどういう存在なのかを考えるきっかけを与えながら、自分の生活を振り返り、改めて友情の尊さを理解し、心から信頼できる友達とは何かを考えていく。そして、人と関わることを恐れず、心から信頼できる人間関係を築き、互いの成長を高め合うことのできる生徒、集団となるきっかけとしたい。

3 本時の指導

(1) ねらい

友情の尊さを理解し、心から信頼できる友達と励まし合い高め合う態度を育てる。

(2) 展開

過程	時配	学習活動と主たる発問・予想される生徒の反応	支援及び指導上の留意点	資料
導入	5分	1. アンケート結果から友情について考える。 (1分) 2. DVDのあらすじを確認する... ・ユリ、ミキ、マリコの関係 ・ユリとミキの関係が崩れ始めた原因 (練習時のミキの態度・ユリの書き込み) ・その後の3人 (4分)	(事前にビデオを視聴済み) ○本時の学習に関心をもたせる。 ○ユリ、ミキ、マリコの写真と名前カードを提示し、話の内容を確認する。 ○ユリの書き込みに共感させる。	アンケート結果 場面絵 名前カード
展開	30分	3. 資料「いつのまに…」についての話し合い ○「書き込みなんかしなきゃよかった。でも、書き込まなきゃ・・・」とつぶやいた時ユリはどんな気持ちだっただろう。 ・仕方ないよ、みんなの目が気になるもん。 ・書き込まなかったら自分も悪く言われそうだったし。(恐怖) ・こんなことになったの、私のせいかもしれない。 ・悪いことしたな。(後悔)(謝罪)	○このシーンをもう一度流す。 ○マリコも部員であり、自分をかばってくれた大事な存在であることを確認させる。 ○青い付箋に自分の意見を書かせる。(3分)	DVD 付箋 場面絵

		<ul style="list-style-type: none"> ・「ごめん」って謝ったとしても伝わらないよ。どうしたらいいか分からないよ。(迷い) ・明日、ミキに謝ろうかな。(謝罪) ・早くこのチャット止めないと。(解決) <div style="text-align: center;"> </div> <p>◎保健室で、ユリはミキに何を伝えようとしたのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あの時、ミキは一生懸命シュート教えようとしてくれていたのに、それが分らなくて、私、バカだった。(後悔) ・一緒にまた、バスケがしたいよ。部活に戻ってきてよ。ミキも大事な仲間だよ。 ・ミキの存在がいかに大きなものかに気づいたんだ。教室に戻ってきてよ。 ・「一応友達」なんて書き込みして、ごめんね。(謝罪) ・廊下でさげちゃってごめんね。(謝罪) ・私は、ミキがうらやましかったんだ。(嫉妬) ・ミキだけ、片付けしないで帰るなんて、ずるいと思っていたんだ。(嫉妬) ・ミキ、片付けはみんなで一緒にやった方がいいよ。(忠告) 	<ul style="list-style-type: none"> ○<u>班(6人)にして、付箋を分類しながら模造紙にはらせる。</u> ○<u>黒板に分類し終えた模造紙を掲示し、全体で意見をシェアさせる。</u> ○<u>ピンクの付箋に自分の意見を書かせる。(3分)</u> ○<u>班(6人)にして、模造紙に付箋をはらせ、意見をシェアさせる。似ている意見を近づけてはらせる。</u> ○<u>班長に意見を発表させ、全体で意見をシェアさせる。</u> ○<u>何についてどんな気持ちでその言葉を伝えようとしたのか、を言わせる。また、どこのシーンからそう思ったのかも発表させる。</u> ○<u>補助質問と中心発問で、ユリの気持ちの変容を確認させながら、価値にせまる。</u> ○<u>生徒の変容を観察する。</u> 	<p>模造紙 付箋</p> <p>付箋 模造紙</p>
<p>終末</p>	<p>1 5 分</p>	<p>4. この授業を振り返り、感じたことをまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大事な存在なら、どんな状況でも助け合うのが当たり前だと思った。 ・「本当の友達」だったら相手のいけないところを注意したり、忠告してあげたりすることも 	<ul style="list-style-type: none"> ○<u>学習を振り返り、思ったことや感じたことをワークシートに記入させる。</u> ○<u>「本当の友達」とは何かを再度確認しながら、信頼し、高め合う関係を築こうとす</u> 	<p>ワークシート</p>

	<p>大事なんだと思った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達はいつも一緒にいるだけのただの仲良しとは違うことが分かった。 ・心から信頼できる友達をもちたい、と思った。 	<p>ることの尊さに気付かせる。</p>	
--	---	----------------------	--

(3) 板書計画

保健室で、ユリはミキに何を伝えようとしたのだろう。

「書き込みなんかしなきゃよかった。でも、書き込まなきゃ・・・」とつぶやいた時、ユリはどんな気持ちだっただろう。

いつのまに…

ユリ ミキ マリコ

主人公 レギュラー バスケット部の仲間

ミキの親友 休みがち

4 他の教育活動との関連

本時のねらいは「友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合う」ことであり、各教科での授業や日常の学校生活、部活動など全ての教育活動と関連している。

本校では「将来を見通し、共同学習を通して考え、表現できる能力と態度の育成」を学習の研究主題としており、各教科の授業で話し合い活動を取り入れている。授業中の話し合い活動を通して、互いの考えを聞いたり理解しようとしたりすることで、友達の意見を大切にする意義、友達を尊重しようとする姿勢を育てたい。

日常生活においては、給食当番、週直活動、清掃活動等において、互いに協力しながら活動を行うことで効率や質を上げることに気付かせ、集団を高めることにつなげたい。また、係の取り組みにおいて、活動を支えてくれている仲間の存在に気付かせたい。また、今後行われる体育祭や合唱コンクール等の行事で、意見の違いによる仲間との衝突を繰り返しながら、より深い関係を築いていくことで、友情の尊さを学ばせ強い信頼関係を築かせていくための一助としたい。

いつのまに...

授業を終えて

少しのことが原因で、いじめにつながって
ほうことを改めて実感しました。

いじめになってしまうと、気づいたときには
信頼、友情などがなくなっていたり、ひかえしの
つがないことになってしまうので、これが元、
気づけていきたいです。

1人1人が、少しでも強く言ったり、SNSに書
きこみをするなどすることによって、これまで大々
なことになってしまふのかと思ふ。

自分の生活で、こんなことはないけれど、かりにお
きてしまったら、今日のことを思い出し、しっかり判
断できるようにしたい。

このDVDを見て分かったことは、インメというのはとても苦しいこと
悲しいこと、そして、つらくなるということも分かりました。
梅は、千葉の栄町にリウマチ崎からや、と来ました。学校はとても楽しく
それは良かったんですけど、中学は知らない人がいて、インメが
は、通うのがはなないかなと思、いたら、1年4組のクラスとは
すぐに仲良くなれたのでとてもよかったです。
でももし、自分で本当に信じていると思う友達がいいたら、
ちゃんとした信じてもらえると思います。
何でも言い合ひ、かくし癖をなしにするという親友を、
梅はつくってみたいですね。

私は、もしこういう場面になったらちゃんとみんな平等

だから人にえらむにしないで、できない子とかに「がんばれ!!」とか
心んしたり、教えるあげるのが大事だと思いました。

これから3年間共に部活を頑張る仲間として、いっしょ友
達でいることが、とても大切だと思いました。

ユリとミキは2人ともや、てはいけないことなどをや、てしま
たので、おたがい様だと思いました。

改めて友達は必ようだと思いました。

指導案 3

第3学年5組 道徳学習指導案

指導者 山本 沙織
展開場所 3年5組

- 1 主題名 内容項目 公正・公平 (内容項目番号 C- (11))
(資料名「そのいじり、大丈夫?」)

2 主題設定の理由

(1) 価値について

本主題は「正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努めること。」をねらいとしている。

中学生の時期は、些細なことが原因で、意見の対立が生まれたり、気持ちの行き違いが生じたりすることがある。周囲への流れについて同調し、別の人を傷つけることや、相手に対する嫉妬や批判の気持ち、自己中心的な考え方から、公正、公平な言動をとれず、相手を傷つけてしまうこともある。時には複数の人が集まり誰かを話題にしていく中で、いつのまにか誹謗中傷していることとなったり、そこに思いがけず自分も加わってしまったりすることもある。また、いじるつもりがなく、冗談で行っている言動が相手を傷つけ、苦しい思いをさせてしまっていたり、本当は嫌だけどその場の雰囲気からそれを笑って受け流したりすることは学校生活でも十分起こりうることである。

修学旅行が終わり、友達との仲も深まってきたときに“いじり”と“いじめ”の違いを考えることで、人との関わり方を改めて見直す機会になると考える。授業では、普段何気なく友だちとのコミュニケーションの中で行われている行為が差別や偏見を招くことがあるということを理解し、不正な態度を改めようとする態度を育てたい。新しい環境で人間関係作りが円滑にいくような考え方、人との接し方について考え、差別や偏見のない社会作りの基盤作りをさせたいと思い、本主題を設定した。

(2) 生徒の実態について 男子15名女子14名の合計29名(特別支援学級交流3名)

2年次からの持ち上がりのクラスである。男女分け隔てなく生活をしている。全体的に穏やかな生徒が多い。修学旅行を通して、友だち同士の思い出が増え、更に仲が深まってきた。しかし、友だちに対して深く考えずに心ない言葉を使ったり、心なくからかったりしている場面も見られることがある。

<事前アンケート>

・誰かにいじられたことはありますか。	ある 16名 ない 8名
・誰かをいじたことはありますか。	ある 18名 ない 6名
・人をいじると楽しいですか。	楽しい 19名 楽しくない 5名
・いじられるのは楽しいですか。	楽しい 8名 楽しくない 13名 場合による 3名
・相手はいじりのつもりだけど、嫌な思いをしたことはありますか。	ある 4名 ない19名 わからない 1名

アンケートの結果を見ると、75%の生徒が人をいじったことがあり、それを楽しいと感じている。それに対して、いじられたことがある生徒は66%で、それを楽しいと感じているのは半分の33%であった。いじられたことがある生徒の半分は、嫌だと感じている。人にやられて嫌なことをして、楽しいと感じている生徒が多いことがわかる。いじるのを楽しくないと感じている生徒の中には、「自分は言われていやなことをいじられると嫌な気持ちになるから」「悲しいから」と考えている。また、「場合によっては楽しい」と条件付きで楽しいと思っ
ている生徒も数名いる。また、個人面談の中で、「いじめられたりしていないか」という質問に対し、ある女子生徒が「自分では笑っているし、からかわれているだけで気にしていないけど、母親に話しをしていたら」それっていじめじゃないの？「と言われたからもしかしたらそうなのかなと思うことがありました。」と話していた。仲良し同士が冗談で行っている言動が、周りから見ると度をこしていて実は相手を傷つけてしまっていることも考えられる。

これらの実態から、同じことでも人によって受け取り方・感じ方が違うことを認識し、普段何気なく自分が行っている言動が、差別や偏見を招いている可能性があることに気づかせたい。そして、中学校を卒業し、新しい環境で人間関係作りが円滑にいくような考え方、人との接し方について考えさせたい。

(3) 資料について

本資料は、「いじり」に焦点をあてた、自作資料である。

いじりを普段友だちとのコミュニケーションとして使ったり、見たりする場面に焦点を当てているので、生徒は取り組みやすいと考える。

修学旅行が終わり、友達との仲も深まってきたときに「いじり」と「いじめ」の違いを考えることで、人との関わり方を改めて見直す機会になると考える。同じ言葉・行動でも相手・周囲を楽しくさせもするし、不快な気持ちにもさせるということに授業を通して気づかせたい。また、同じ言動でも場面や状況によって”いじめ”になりうると考えさせることを通してねらいに迫らせたい。

以上の分析から、ねらいを設定すれば、何気なく行っている言動が差別や偏見を招くことを理解し、不正な態度を改めようとする態度を育てられるであろう。

(4) 指導観

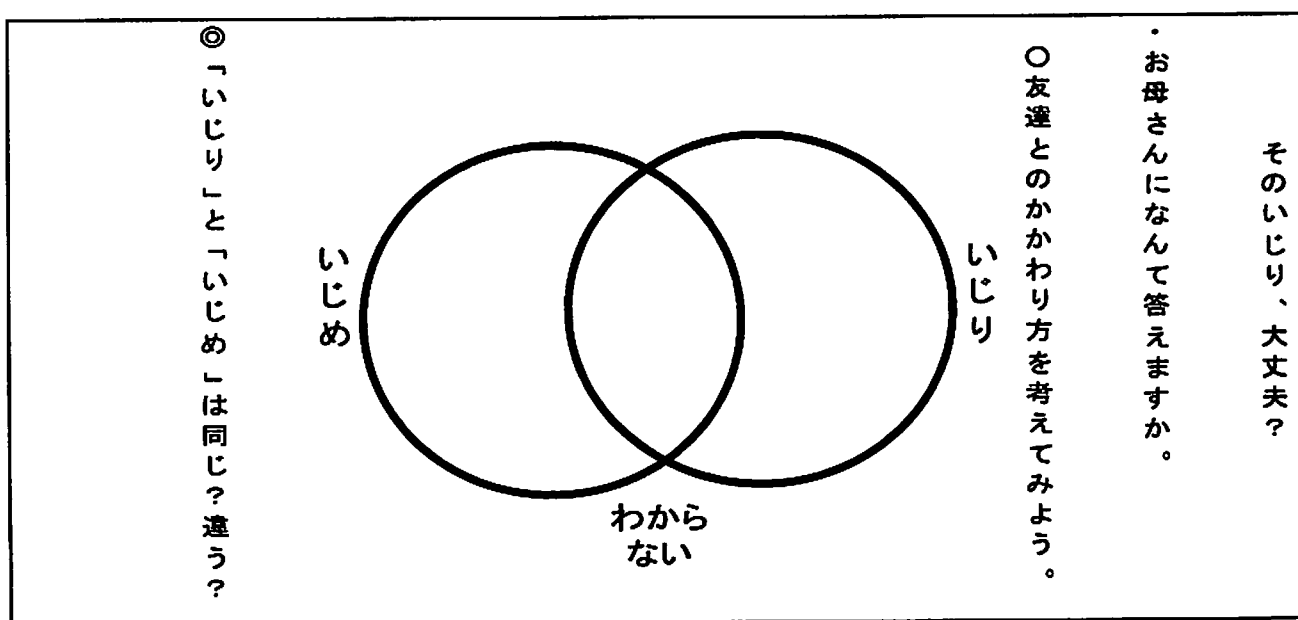
本資料は、普段何気なく友だちとのコミュニケーションの中で行っていたり、見たり聞いた
りすることであり、生徒にとって身近な題材であり、自分のこととして考えやすいと思われる。

友だちとの関わり方について改めて考える良い機会になると思われる。「いじり」と「いじめ」は同じもの？違うもの？という問いに対し、自ら考えたことを班で意見を交換する中で、自分と仲間との考え方の違いを知り、他者理解を深めていきたい。「いじり」で笑顔になったり、そこから会話が広がったりすることもあるが、すべて許されるわけではないということに気がつかせたい。

残り10ヶ月の中学校生活を、普段の生活を振り返りながら、お互いに気持ち良く生活し、卒業後の新しい環境での人間関係作りに役立つようしていきたい。

		<p>*数名指名して、考えを発表させる。</p> <p>○学級でよくいじられていた子の実話です。</p> <p>・映像(NHK いじめノックアウトの一部)を視聴する。</p>	<p>・仲良し同士でも、相手を気遣う気持ちが必要なことを感じさせたい。</p>	
終末	10	<p>4. 価値の主體的自覚</p> <p>○今回の授業を通して、考えたこと、思ったことなど書いてみよう。</p> <p>*授業を通して、考えたこと、思ったことを自由に記述する。</p> <p>*数名指名して発表させる。</p>	<p>・自分の考えを深めさせる。</p>	

(3) 板書計画

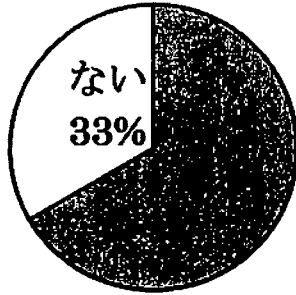


4 他の教育活動との関連

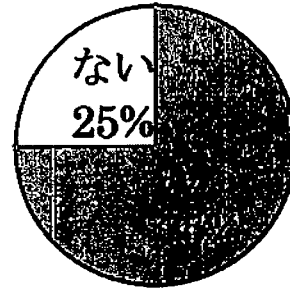
社会科…公民分野 個人の尊重と日本国憲法、現代の民主政治と社会、
私たちの暮らしと経済

アンケート結果

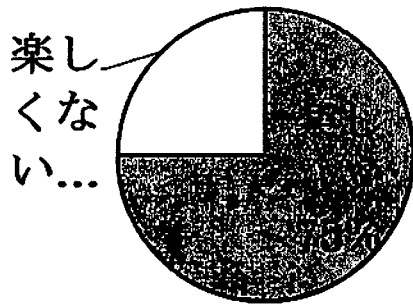
いじられたことは



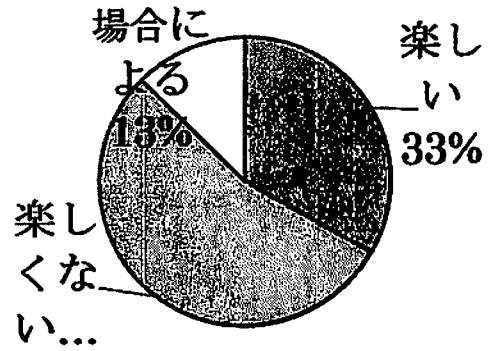
人をいじったことが



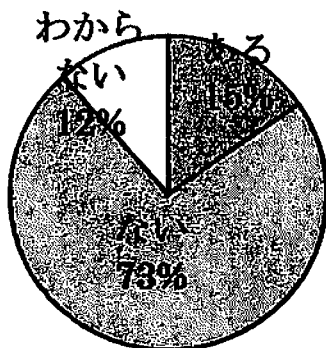
人をいじるのは



人にいじられるのは



いじめで嫌な思いをしたことが



【資料の朗読】

『みずいろのマフラー』 これは、ぼくとヤンチ、そしてヨースケの物語。ヨースケは、ちからが弱かった。ヨースケは、はしるのが遅かった。ヨースケは、さんすうが苦手だった。ぼくらが嫌なやくを押し付けても、ヨースケはちょっと困ったような顔をしながらぼくらの言う通りにした。あるひ、ぼくとヤンチはいつものようにヨースケがまけるまでじゃんけんをして、ヨースケにランドセルを持たせてかえていた。「あなたたち、何やってるの！」振り返ると、ヨースケのお母さんが立っていた。もしあなたが「ぼく」だったら、お母さんになんて答えますか。

【‘いじり’か‘いじめ’かどうかの個人プリント】

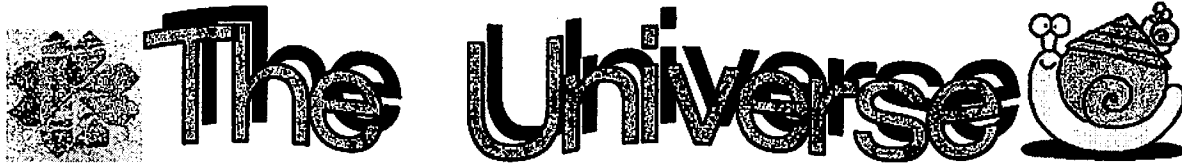
番号	記号	内容
10		人のテストの点数をばらす。
9		あまり親しくない人をからかう。
8		変なあだ名をつける。
7		すれ違うときに、「いつも」や「いつも」。
6		間違っていることを、わざと教える。
5		笑顔でお互いのことをけなしあう。
4		修学旅行中、夜の部屋の中で好きな人の話をきく。
3		学年全体の前で、以前した失敗を大きな声でいう。
2		友だち同士で話をしているときに、からかう。
1		物まね・変顔をさせる。

学校生活の中で考えられる友だちとの関わりの場面です。いじりだと思うものには○、いじめだと思うものには×、わからないものには△をつけてください。

いよいよ義務教育最後の年!!
周りの人の気持ちも含め、自分で考え、仲間と協力して行動していこう!!

実力テストの実施は、6月30日です。

NO10(通算NO.53)



栄町立栄中学校 3年5組 学級通信 6月24日(金)

お互い 気持ち良く生活するために・・・

22日(水)道徳の授業を行いました。普段、友だち同士と接する中で行われている“いじり”に焦点を当てた内容でした。中学校卒業まであと9ヶ月。お互いが気持ち良く生活するために必要な事の1つを、話し合いを通して深められたと思います。

<“そのいじり、大丈夫?” 考えたこと・思ったこと Part1 >

- ・いじりといじめは違うけど、近いような所にあつて、いじりキャラの人がいて、その人をいじっていると、もっといじりたくなくてその気持ちがエスカレートしてしまうと、いじめになってしまうと思った。だから、いじるのも限度を持ってして方がいいと思った。いじりはエスカレートしないようにほどほどのいじりの方がいいと思った。また、いじりは人のことを傷つけているかもしれない。いじめをしている人がいたら注意するとかしたいと今日の授業で分かりました。
- ・今回の授業を受けて今までいじったことがあつて、それがもっとエスカレートしていじめになったら大変なことなんだと思いました。これから、いじるのを減らしていじめへの発展を少なくしていきたいです。また、いじめを受けた事があるのでちゃんと相手の気持ちをしっかり理解していき、いじめを減らしていきたいです。
- ・やられている人が嫌じゃなかったら「いじり」だと思っていたけど、本当は言えないだけで、嫌だと思っていることもあるんだと思いました。これからは、エスカレートしすぎて、人を傷つけるということがないように気をつけようと思いました。そして、その嫌だと思っている気持ちに気づけるようにしようと思いました。
- ・班のみんなで学校生活の中で考えられる事を「いじり」と「いじめ」に分けたとき、自分では「いじり」だと思っていたものが周りからしたら「いじめ」と感じたりするんだなと思いました。本当にあつたことを動画で見ましたが、最初のきっかけはささいなことでもだんだんエスカレートして「いじり」から「いじめ」に発展していくんだなと思ったので、今後気をつけていきたいなと思いました。
- ・私はいじめノックアウトを見て考えが変わりました。いじりは嫌でも周りのみんなが笑っているから、笑っていただけで心の中ではいじめと知っていることもあるんだとわかった。笑っているからといっていじりとは思わないこと。いじりがエスカレートすると簡単にいじめに変わることが分かった。だから、いじりといじめは同じだと分かった。
- ・軽い気持ちで、人をいじっていたとしても、相手が嫌な思いをしたら「いじめ」になると思います。友だちと話していて、私や友だちは冗談でいったつもりでも、相手がいやな思いをしていないか考えることが大切だと思いました。また、自分がされて嫌なことはしないということ、いじられて嫌な思いをしたなら、やめてと言える勇気を持つことも大切だなと改めて思いました。
- ・いじめは、会話や遊びとしてお互いが楽しいと思う気持ちがあれば、行っても良いと思います。でも、相手が本当に楽しんでいるのか、嫌ではないのか、それをしっかり区別して、いじりの後にどっちか一人でもブルーな気持ちになっては絶対にいけない事だと改めて思いました。「けなす」「みくだす」「いじる」は、そのやり方次第で人の心を楽しませる事が出来るし、いとも簡単に壊れてしまうと分かりました。
- ・今回の授業で「いじり」と「いじめ」の違いが分かりました。僕は、友だちのことをいじったり、いじられたりしてるけど、今度からは、相手の気持ちを考えて接していきたいです。
- ・いじりというのは、程度を考えてやること。でも、できれば「いじり」も「いじめ」もやらない方が良いと思う。

実力テストの実施は、6月30日です。

NO11 (通算NO.54)

The Universe

栄町立栄中学校 3年5組 学級通信 6月 24日 (金)

< “そのいじり、大丈夫?” 考えたこと・思ったことPart2 >

- ・いじりというのは、程度を考えてやること。でも、できれば「いじり」も「いじめ」もやらない方が良いと思う。
- ・いじりがエスカレートするといじめになってしまうことを知って、これからは、いじりがエスカレートしない程度にしておくはならないなと思いました。いじりは、相手が傷つかないことだけど、いじめは相手が傷つくことなので、いじめにならないように気をつけていこうと思いました。
- ・今回の授業では、いじりの授業をして、いじりといじめの違いを知ることが出来ました。自分がいじりだと思っていたとしても、相手にとってはいじめに感じていることがあるかもしれないと思うと、これから態度、言葉づかいなどに気をつけて過ごせるようにしないといけないなと思いました。
- ・ビデオで、相手の気持ちを考えて行動すれば、こんな事にはならずにすんだのと思った。あとは、自分が面白いからという自分勝手な理由のために行われていたりするのがとても腹立だしいと感じた。
- ・いじめをすると、死んでしまう事もあるのでいじめは、いけないと思いました。いじりが発展し、いじめになってそれで死んでしまうのはダメなので、周りの人がやりすぎだと気づいたら先生に言ったり、自分で言ったりするのが大事だと思いました。
- ・友だちをいじるとき、嫌な思いをしていないか相手の気持ちも考えてなければいけない。「いじり」が「いじめ」にエスカレートしないように、相手の気持ちをよく考えることが大切だと思った。
- ・自分がいじりだと思って、楽しんでいたとしても、相手は嫌な思いをしているかもしれないから、いじりをしたとしても、相手のことを考えながらしないといけないなと思いました。
- ・まず、どっちもやらない方がいい。
- ・最初はいじりだったが、それがエスカレートするといじめになってしまうことがあるので、それを止めるという事も大事だと思いました。また、自分はからかっていると思っていたけれど、相手はどう思っているのか分からないので、もっと相手の事を考えてものごとを発言したりした方がいいなと思いました。
- ・いじめといじりの違いをやり、いじめといじりはまったく違うものだなと改めて感じました。いじっている人もいじられている人も笑顔で楽しそうだからといっても、いじられている人の心が傷ついているかもしれないから、いじりすぎない方がいいのかなと感じました。
- ・はじめはいじりだと思ってやっていることでも限度を過ぎるといじりではなくいじめになってしまうと思った。またそのいじめが原因で辛い思いをする人が増えていくんだと思った。いじめといじりの境はとても複雑なんだと思う。
- ・いじりもほどほどにして、エスカレートしないように今後気をつけたいです。
- ・人をいじることは、最初はお互い楽しいことかもしれないけど、だんだんいじめになっていってしまうこともあるかもしれないから、いじりすぎないように気をつけようと思いました。いじられて、嫌な気持ちになった時はいじめになる前に、自分でやめてっていうことも必要だと思いました。
- ・普段生活しているときに、いじったり、いじられたりすることがあって、今はお互いが楽しそうにしているけど、いじりがエスカレートするといじめになってしまい、相手が嫌な気持ちをすることがあることが分かりました。相手の気持ちを良く考えながら生活することが大切だと改めて感じました。
- ・今日の授業を通して思ったことは、自分が「いじり」だと思っていても、やられている本人は「いじめ」だと思っていることです。そうすると、「いじり」と「いじめ」の区別は人によって違うので難しいと思います。「いじり」が「いじめ」に発展しないように防ぐ対策法は、本人に嫌か嫌じゃないかを聞くのが一番だと思います。

指導案 4

第3学年5組 道徳学習指導案

指導者 山本 沙織

展開場所 3年5組教室

- 1 主題名 内容項目名 家族愛 (内容項目番号 C-(14))
(資料名「家族のはなし」 出典「鉄拳 パラパラ漫画作品集第二集」)

2 主題設定の理由

(1) 価値について

本主題は、内容項目 C-(14)「父母、祖父母を敬愛し、家族の一員としての自覚を持って充実した家庭生活を築くこと。」をねらいとしている。

人間は、過去から受け継がれてきた生命の流れの中で生きている。中学生の時期は、自立心が芽生え、自己主張が強くなり、自分の判断や意志で生きていこうとする自律への意欲が高まってくる。そのため、家族を思う気持ちはあっても「やってもらって当たり前」「口出ししないでほしい」など、家族に支えられていることを認識せず、反抗的な態度をとってしまう生徒も少なくない。特に、中学3年生は義務教育最終学年となり卒業後の進路について真剣に考える時期である。受験に対する不安と上手くいかないもどかしさで、家族特に父母に対して素直になれず、反発してしまうことも多い。

今回の資料では、陸上競技で怪我をしてから少々横道にそれてしまった主人公の男子を、最後まで温かく見守っている両親の姿を通して、親の子どもに対する愛情について考えさせたい。そして今、何不自由なく普通に生活することができるのは、自分の成長を願い、深い愛情を持って育ててくれた父母の存在があるからであること、親は自分の一番の応援団だということに気づかせたい。

そして、無償の愛を与えてくれる父母の存在をしっかりと認識し、受験の冬を乗り越え、新しいステージへ旅立つことを願い、本主題を設定した。

(2) 生徒の実態について (男子13名 女子13名 合計26名)

2年次からの持ち上がりのクラスである。男女分け隔てなく生活をしている。全体的に穏やかな生徒が多い。修学旅行や体育祭を通して、友だち同士の思い出が増え、更に仲が深まってきた。しかし、学校では穏やかに生活している生徒も、家では親に対して乱暴な言葉を使ったり、反抗したりすることもある。また自分のために考えて、支援や援助をしてくれているのを分かっているながらも、素直に感謝の気持ちを表せなかったり、逆に煩わしく感じたりしている生徒も少なくない。

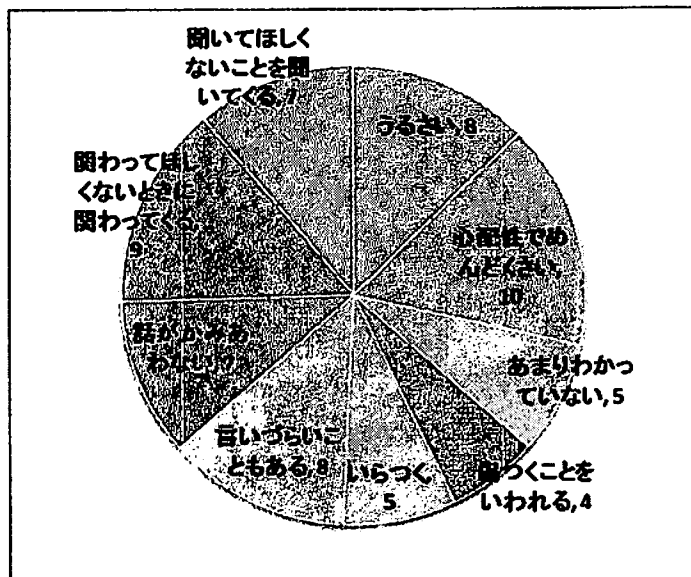
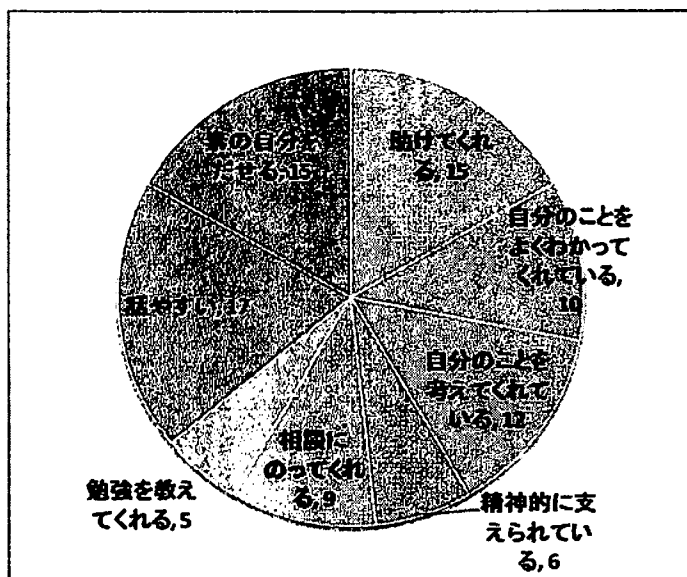
現在の親子関係について事前にアンケートを実施した (回答25名、複数回答あり)
ア. 悩み事があるときに相談する相手は誰か。

父5名、母14名、友だち15名、学校の先生4名、塾の先生4名、
相談しない2名、 その他3名

イ. 家族についてどのように思うか。

プラス面： 回答数 89

マイナス面： 回答数 63



アの悩み事の相談相手の一番は、友だちであった。これは、同じ立場で感じていることに共感してもらえる部分が多いからだと考えられる。2番目が母で、生徒の半数は母親に悩み事など相談して、関係はそんなに悪くないことがうかがえる。イの家族については、家族のプラス面マイナス面の例をだし、あてはまるものに複数回答してもらった。プラス面の回答数が89、マイナス面の回答数が63であった。比較的、家族に対して良さを感じている生徒が多いがその反面、面倒だと感じることもあるということがわかる。本時では、家族、特に親のプラス面もマイナス面も、親からの愛情であり、常に温かく見守って応援してくれる親の存在に気づかせたい。

(3) 資料について

本資料「家族のはなし」は年齢や生活状況を超えて、共通して感じることができる親の思いが描かれている。また映像、パラパラ漫画、短編であることで、生徒の興味関心を引きつけられる。

主人公の男の子は、陸上競技で怪我をしてから少々横道にそれてしまう。そんな中、戸棚に大切にしまわれている自分の活躍が掲載された新聞記事の切り抜きを見つける。主人公は、親が影ながら応援してくれていたこと、すべてを知っても何も言わずに見守ってくれていた優しさに気がつく。有頂天になり、ないがしろにしていた家族の優しさに改めて悔い入ることになった。家族の深い愛情を心に刻み、主人公は新たな道へと再スタートを切る。

この資料を通して、ふるさとを2度巣立つ主人公を温かく見送る両親の姿から、常に子は親に支えられているということに気づかされること、親の深い愛情を感じられることである。主人公の気持ちの葛藤や家族に対する態度の変化と、変わらない親の姿を比較することで、子どもがどんな状況にあっても親は変わらず側にいてくれる一番の応援団であることに気がつき、父母に対する感謝の気持ちを育てられると考えた。

以上の分析からねらいを設定すれば、父母に対しての敬愛の念を深めることができるであろう。

(4) 指導観

漫画、そして映像ということで、生徒が興味関心を持ち、様々なことを感じ取ることができる。将来に不安で親に素直になれずに反発してしまう主人公の姿は、受験を控え不安を抱えている中学3年生の姿と重なる。主人公の気持ち・態度の変容を考える中で、自分自身を振り返り、いつも変わらず応援してくれている親の思いに素直に向き合うことができ、父母の深い愛情に対する感謝の気持ちを育成することができる。

この時期に家族との関わりを振り返り、家族の存在が自分の支えとなり励みになっていること、親は自分の一番側にいる応援団だということを理解させたい。そして、中学校を卒業して新たなステージで自らの可能性を信じ、自分はどう生きていくのか考え、挑戦していく意欲を育てていきたい。

漫画の中の特別な世界にとどまらず、日常生活にも通じる気持ちのやりとりであることを常に意識しながら授業を進めたい。

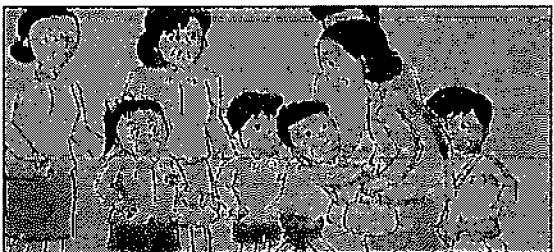
3 本時の指導

(1) ねらい

どんなことがあっても子どもを温かく見守る親の姿を通して、家族・父母に対する敬愛の念を深めるとともに、将来に向けて自らの可能性を広げていこうとする意欲や態度を育てる。

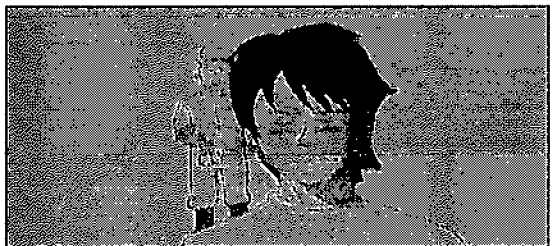
(2) 展開

過程	時配	学習活動と主たる発問・ 予想される生徒の反応	支援および指導上の留意点	資料
導入	5	1. 今の自分を振り返り、親に対する 思いを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> ○親・家族って面倒くさいときがある？ その理由は？ </div> ある・・・勉強しろとうるさい。 いちいち干渉してくる。 すぐ怒る。 やりたいことをやらせてくれない。	<ul style="list-style-type: none"> ・今の自分の生活と家族について目を向けさせることで、本時への導入をはかる。 ・思ったことを自由に発言させる。 	アンケート結果
展開	30	2. 資料の掲示 ・ <u>DVD</u> を視聴する... (前半3分半程度) 3. 資料「家族のはなし」についての 話し合い	<ul style="list-style-type: none"> ・主人公に注目するように促す。 ・主人公に対する様々な感想や考えを引き出す。 	DVD 道徳 ノート



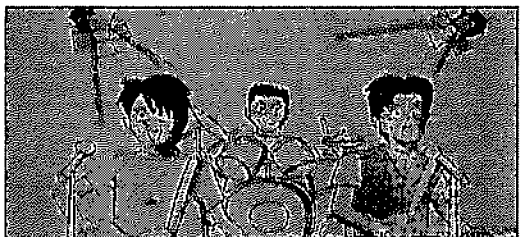
①

陸上競技で怪我をしてから少々横道をそれてしまった主人公の男の子を、最後まで温かく見守ってくれる両親の姿が描かれており、棚に保管されていた新聞記事の切り抜きから親の思いに気づく主人公。これは、とあるりんご農家に生まれた主人公とその家族を描いた作品である。



②

①主人公の男の子は幼稚園の入園式でお母さんと離れるのが不安で心配性な男の子だった。小学校に上がると、合唱コンクールでも一生懸命に歌う活発な子になった。お手伝いもしっかりとし、りんご農家を継ぐことが将来の夢であった。部活は陸上で優秀な成績を収めるが、怪我をきっかけに挫折してしまう。絶望の中、出会ったのが音楽だった。



③

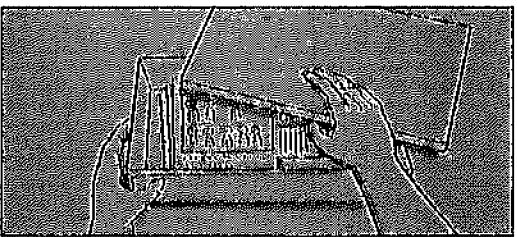
②本当は陸上をやりたいのにできない悔しさからりんご農家を継ぐことを受け入れることができない。音楽の道に進むことを決める。



④

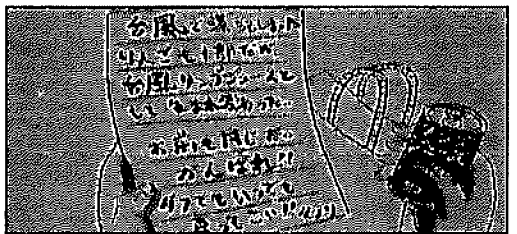
③東京の大学へ進学し、バンド活動をスタートする。アマチュアの大会で優勝するなどしてデビューを果たす。その後売れずに解散してしまう。

④親が頑張ってくれた仕送りで悠々と生活していて、大学を中退してしまったことも告げていなかった主人公。実家に戻っても素直になれないでいた。



⑤

⑤しかし、戸棚にしまってあった新聞の切り抜きで親が影ながら応援してくれていたこと、すべてを知ってもなにも言わずに見守ってくれていた優しさに気づく。



⑥

⑥バンドで成功して有頂天になり、ないがしろにしてしまった家族の優しさを改めて受け入る。家族の深い愛情を心に刻み、新たな道へと再スタートを切る。

「家族は面倒くさい幸せだ」という言葉が様々なことを表している。



The Universe

栄町立栄中学校 3年5組 学級通信 11月 18日(金)

新たなステージへ挑戦していく君たちへ

11日(金)道徳の授業を行いました。一番近くにいる家族に焦点をあてた内容でした。お笑い芸人鉄拳のバラバラ漫画を用いて、一番近くにいる時に面倒くさく感じることもありながら、自分のことをじっと見守り、信じてくれる家族の存在、大切さについて考えることができたと思います。自分を信じて、見守ってくれている存在を支えにして新たなステージへ向けて挑戦して欲しいと願います。

<家族の話 考えたこと・思ったことを紹介します>

- ・これから家族を大切にしたい。家族に恩返ししたい。
- ・私も、一度は親がめんどくさい・うざいとおもったことはあるけど、陰でしっかり支えてくれていることは自分でも気づいているので、本当にすごくありがたいと思っています。これから、受験のことでぶつかってしまうこともあると思うけど、親の気持ちも考えずずっと良い関係でいたいです。
- ・いつも、しつこかったり、うるさかったりするけどほんとは動画みたいに私のことを考えてくれているのかな、と少しうれしくなりました。そして、改めて家族は大切だなと感じました。動画の最後になった「家族は面倒くさい幸せだ」とありましたが、本当にその通りだなと思います。
- ・今日の授業の映像を見て、映像の男の子は途中で、親がうるさいなど、うざいって思っているのかなと思いました。けど最終的には、親の大切さを知ることができていたと思いました。私も親がうるさいと思うときがあります。けど、親が自分のことを一番わかってくれるというのを感謝したいです。
- ・大切にしようと思った。
- ・いつも親は心配性でけっこううるさく言われて、正直嫌だったけど、今日の授業で動画の最後の「めんどくさい幸せ」ってあったので、言われたことをすべて受けとめるのは難しいけど、いわれたことをできるだけ受けとめられるようにしたいです。
- ・家族って大切だと思った。
- ・授業をして、改めて家族の大切さがわかりました。これからも大切にしたいです。
- ・めんどくさい面もあるが親の存在は偉大だと思った。
- ・やっぱり家族はこどものことを大切に思っていてくれるんだなと思いました。これからは、感謝の気持ちをもっていきます。
- ・親をうるさいと思ったり、イライラする事があるけれど、結局ごはんを作るのも、洗濯するのも、自分を一番わかっているのを親だということ。見えない所でこそ、親は支えてくれている事を改めて考えました。これからも色々あると思うけど、感謝の気持ちはしっかり伝えていきたいです。
- ・家族は時々嫌だと思ふときもあるけど、陰で支えてくれているんだろうと思いました。家族に優しくしようと思いました。
- ・ときどき嫌な時もあるけど、やっぱり一番想ってくれているのは家族なんだなと改めて思いました。
- ・家族は改めて大切にしなきゃなと思いました。これからは相談に乗ってもらったり、助けてもらうことが多くなると思うけど、相談にのってもらったらしっかりとして大人になってから恩返ししたいです。
- ・大切にしようと思った。
- ・今は、時には何かを言われてイライラしたりすることもあるけど、大人になったら、それはすごい心配してくれて言ってくれている言葉だと気づくと思った。親が年老いてい姿を見るのはつらい。
- ・親はめんどくさい時が多いけど、自分のことを一番わかっている存在だと改めて思いました。
- ・今は、反抗期だけれども親とちゃんと向き合わなければいけないということも大切だと思いました。ちゃんと自分とも向き合うということもわかりました。家族が一番支えてくれるので大事にしようと思って思いました。
- ・親のことをうるさいとか思っていたけど、自分のこと大切に思っていてくれたからだと思いました。
- ・今日の授業を通して、自分は親に強くあたったりしないのですが、将来そういうことがあるかもしれないので今日の授業を教訓にしていきたいです。

指導略案 5

いじめ撲滅スローガンを考えよう (略案)

時 配	学習活動と学習内容	指導・支援 ○評価
5分	1 学習問題をつかむ 「ことば」によるいじめで命を落とす生徒がいることに気付く。	<ul style="list-style-type: none"> ・担任がプリントの文章を朗読し、学習問題をつかませる。 ※補足資料 (先月) 9月24日、「LINEで悪口を言われている」ことが原因で青森市の中学校2年生の女子が自ら命を絶った。 ⇒2学期にいじめの件数が増える傾向にあることも伝える。
5分	2 生徒会のいじめアンケートの結果を見て、感想を書く。 →プリント(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会のアンケートから「いじめ」が身近な存在にあり、どこでも「いじめ」起こり得ることを気づかせる。
5分	3 「ことば」によるいじめを無くすためにはどうしたらいいか、箇条書きで書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分にできることや、みんなで取り組めそうなことを考えさせる。
学習課題：いじめ撲滅スローガンを考えよう		
25分	4 3で、個人で考えたことを班で発表し合い、それらを土台としてスローガンを考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・抽象的なスローガンではなく、できるだけ具体的で、学級の実態に合ったスローガンとなるように支援する。 →7・5調など語呂が良くなるようアドバイスする。
10分	5 班で出たスローガンを発表し合い、学級のスローガンを考える。 →各般の発表を真剣に聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ・学級の生徒全員の目標となるようなスローガンになるように支援をする。 →班で出されたものから1つ選んだり、各班の良いところを合わせ、折衷スローガンにしたり、クラスの実態に即したスローガンを作成してください。

いじめ撲滅スローガンを考えよう

年 組 氏名

目に見えない大切なものを伝えるにはどうするのか、その方法のひとつが音楽や美術といった芸術だと思います。芸術のすばらしさは、大切なものを伝えているところにあるのではないのでしょうか。そしてもうひとつ、目に見えない大切なものを伝える方法が「ことば」ではないかと思います。

最近のニュースでいじめによる自殺が相次ぎ、悲しい思いをした人がたくさんいました。残念だったのが、いじめの手段に「ことば」が使われていたことです。大きな力をもつがゆえに、使い方によっては相手の命を奪うのでしょうか。しかし逆に、相手に命を与えることだってできるはずです。

自分を奮い立たせ、相手を勇気づけ、自分を癒し、相手を安じる・・・そうした「ことば」はそうした心の持ち主だからこそ使えるのかもしれませんが。だとしたら、お互いそうした心の持ち主でありたいものだと思います。

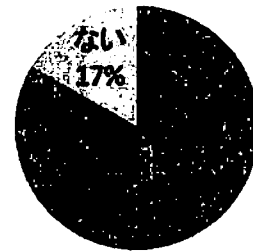
アンケート結果

- ①
- 1 「死ね」 275人 (70.3%)
 - 2 「キモイ」 231人 (59.1%)
 - 3 「消えろ」 217人 (55.5%)
 - 4 「うざい」 195人 (49.9%)
 - 5 「がいじ」 82人 (21%)

その他	
6 「近寄るな」	61人
7 「ばか」	60人
8 「カス」	37人
9 「くず」	28人

②

左に出たことばを使ったことがありますか。



ある	323人
ない	65人
合計	388人

(1) アンケート結果を見て、あなたの率直な感想を書いてください。

(2) 「ことば」によるいじめをなくすためにはどうしたらいいか、箇条書きで書いてみましょう。

- ・
- ・
- ・

(3) いじめ撲滅スローガンを班で話し合い決定しよう。

※できるだけ具体的なスローガンを考えてみよう。

(4) 班で出たスローガンを発表し合い、学級のスローガンを決定しよう。

みんなの「ことば」で栄中からいじめをなくしましょう。

生徒会アンケートにご協力ください

※先生方にはお願いです。机を離し、アンケートは先生が回収してください

年 組 氏名 _____

「友達に言われて嫌なことばを5つ書いてください。」

例) 死ね、キモイ、うざい、消えろ、ガイジなど

- _____
- _____
- _____
- _____
- _____

※ご協力ありがとうございました。

生徒会アンケートにご協力ください

※先生方にはお願いです。机を離し、アンケートは先生が回収してください

年 組 氏名 _____

第2回アンケート

まず、下のアンケート結果をみてください。

第1回アンケート結果

質問「友達に言われて嫌なことばを5つ書いてください。」

1 「死ね」	275人 (70.3%)	6 「近寄るな」	61人 (15.6%)
2 「キモイ」	231人 (59.1%)	7 「ばか」	60人 (15.3%)
3 「消えろ」	217人 (55.5%)	8 「カス」	37人 (9.46%)
4 「うざい」	195人 (49.9%)	9 「くず」	28人 (7.16%)
5 「がいに」	82人 (21%)		・・・その他

質問：あなたはこのアンケート結果にある言葉を使ったことがありますか、ありませんか。次のどちらかに○をしてください。

ある ・ ない

平成28年度栄中学校道徳 他教科との関連【1年】

	道徳	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育(男)	保健体育(女)	技術科	家庭科	英語	総合的な学習の時間	学校行事
4月	A-(2)シンプル イズ ビューティフル C-(10)イエローカード	音を追いかけてA-(3)	地球のすがたを見てみようD-(19)		単元1 身近な生物の観察D-(19)	歌い合わせる楽しさ「校歌」C-(15)	こころの色・かたちA-(4)、B-(9)	集団行動C-(15)	集団行動C-(15)	/	自分の成長を振り返るD-(19)C-(14)	Lesson 1 アマの新しいクラスB-(7)	校外学習B-(6)、C-(15)	入学式A-(4) 身体測定A-(2)
5月	A-(1)赤ん坊の目 B-(8)白橋 D-(19)一冊のアルバム C-(10)赤い信号	オツベルと象B-(6)、B-(8)		正の数負の数A-(4)	単元1 花のつくりの観察D-(21)			陸上競技 短距離・リレーA-(3)		/	健康と食生活のかかわりA-(2)		校外学習B-(6)、C-(15)	校外学習B-(6)、C-(15)
6月	A-(4)キャッチャーミット B-(8)いつのまに… D-(21)テリトリー C-(15)オリエンテーリング	ベンチC-(11)、C-(18)			単元1 被子植物の特徴D-(21)				陸上競技 短距離・リレーA-(3)	/	調理をしようC-(15)	Lesson 3 メイの好きなものB-(9)	校外学習B-(6)、C-(15)	定期テストA-(4)
7月	A-(2)メール依存症 B-(6)さくら発見 C-(15)ふるさと赤い土		日本列島誕生と縄文文化C-(15)	方程式B-(9)			こころの色・かたちA-(4)、B-(6)			/	調理をしようC-(15)			大掃除C-(13) 終業式A-(3)
9月	B-(8)ピーナッツゲーム B-(9)大ムカデ足 C-(17)和太鼓の響き		律令国家成立と平城京C-(10)			合唱コンクールに向けて「課題曲」「自由曲」A-(6) B-(6) B-(8) C-(15)	摩訶不思議絵A-(4)、B-(9)	器械運動C-(10)		/	1日分の献立をたてるC-(14)		キャリア学習C-(12) 合唱コンクールA-(4)、A-(5)、B-(6)、B-(8)、C-(15)	始業式A-(4) 身体測定A-(2) 体育祭B-(8)、C-(15) 定期テストA-(4)
10月	B-(7)一言を添えて D-(22)贈礼 C-(11)わたしたちにも何かできる C-(13)スイカ畑	蜘蛛の糸A-(4)	アジア州をながめてC-(16)	比例反比例B-(9)				器械運動C-(10)		生活を支える技術を知ろうC-(16)	ランチマットの製作 刺し子C-(12)	Lesson 5 中華街に行こうC-(17)	いじめ撲滅スローガンB-(6)、B-(8) キャリア学習C-(12) 合唱コンクールA-(4)、A-(5)、B-(6)、B-(8)、C-(15)	
11月	A-(5)アニメーション誕生 B-(6)誰のために D-(19)バニラとわたし C-(14)たったひとつのたからもの						摩訶不思議絵A-(4)、2-(8)				丈夫な構造を形作る部品の組み合わせ方を理解できるB-(9)	Lesson 6 外国の学校と日本の学校C-(18)		定期テストA-(4)
12月	A-(3)わたしの武器 C-(10)ニアミス C-(18)アフリカに夢を乗せて			平面図形B-(9)	単元3 力と圧力D-(19)			陸上競技 長距離A-(3)	陸上競技 長距離A-(3)	切断の方法を理解し、作業できるB-(6)	/			大掃除C-(12) 終業式A-(3)
1月	A-(1)五十両 B-(7)たった一言の「はい」なのに C-(12)ほくのボランティア活動			空間図形A-(4)	単元4 地震による地面の揺れの広がり方D-(21)	ふれあいの歌声「予備会曲」「卒業式歌」B-(8) C-(15)	生き生きとした生物A-(4)、B-(9)	柔道C-(17)	バスケットボールB-(6)	組み立ての方法を理解し、製作することができるB-(8)	/	Task, Skit B-(9) Lesson 8 それぞれの冬休みD-(21)、C-(18)	予備会C-(15)	始業式A-(4) 身体測定A-(2)
2月	A-(4)不動の定点 C-(11)松葉杖の女子 C-(15)星休みのバスケットボール	少年の日の思い出A-(1)	いろいろな見方で都道府県をみようD-(21)	資料の分析と活用A-(4)	単元4 プレーットの境界D-(21)			バスケットボールB-(6)	柔道C-(17)	ものづくりについてまとめるB-(6)	/	Lesson 9 オーストラリアの観光地からD-(19)、D-(21)、	予備会C-(15)	定期テストA-(4)
3月	C-(15)校歌 C-(15)卒業メッセージ		自然災害と防災への取り組みB-(9)			詩と旋律の流れ「赤とんぼ」C-(14)	生き生きとした生物A-(4)、B-(9)			情報化社会の問題を考えるB-(7)	/			卒業式B-(7)、C-(15) 大掃除C-(13) 修了式A-(3)

平成28年度栄中学校道徳 他教科との関連【2年】

	道徳	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育(男)	保健体育(女)	技術科	家庭科	英語	総合的な学習の時間	学校行事
4月	A-(2)選刺 C-(16)消防士のプライド	虹の足A-(5)	世界の人口分布と変化 D-(19)			歌詞を味わいながら 「生命が羽ばたくとき」 D-(22)	生き生きとした 戯曲を描こうA-(4) B-(9)、C-(17)	集団行動 C-(15)	集団行動 C-(15)	エネルギーの 交換方法について 知ろうC-(17)			キャンプB-(6)、D-(21)、 C-(15)	始業式A-(4) 身体測定A-(2)
5月	A-(1)閉夫の主張 B-(8)三年後のマルさん D-(19)こんにちは、赤ちゃん C-(10)第二ボタン			多項式A-(4)					バスケットボール B-(8)	回路図を正しく 書くことができる A-(4)		Program2 A Trip to Finland B-(9)	キャンプB-(6)、D-(21)、 C-(15)	キャンプB-(6)、D-(21)、 C-(15)
6月	A-(4)アテンション・ブリーズ B-(6)朝の風に包まれて D-(21)異常気象 C-(15)笑顔が戻った日	夏の陣列C-(18)	さまざまな身分とくらし C-(10)					バスケットボール B-(6)		はんだづけを しようB-(6)			キャンプB-(6)、D-(21)、 C-(15)	定期テストA-(4)
7月	B-(6)不思議の勝ち C-(11)ブログ C-(16)おかめのメッセージ			連立方程式B-(9)	単元2 絶句のつくりとはたらき D-(19)		生き生きとした 戯曲を描こうA-(4) B-(9)、C-(17)			作品作りのま とめをしようB-(8)		Program4 Eigo Rakugo C-(16)		大掃除C-(13) 終業式A-(3)
9月	B-(8)ひまわりの初恋 B-(9)功夫(カンフー) C-(17)この空は何色	敬語C-(17)	九州地方をながめて D-(21)		単元2 生命を維持するはたらき D-(19)	合唱コンクールに向けて 「課題曲」 「自由曲」 A-(5) B-(6) B-(8) C-(15)		器械運動 C-(10)		栽培を生活に 生かしていこう D-(21)			職場体数学習C-(12) 合唱コンクールA-(4)、A-(6)、B-(6)、B-(8)、C-(15)	始業式A-(4) 身体測定A-(2) 体育祭B-(8)、C-(15) 定期テストA-(4)
10月	B-(7)いらっしやいませ、こんにちは D-(22)この足に血が通うまで A-(4)リハビリ C-(12)包み紙	お礼の手紙を書くB-(6)		一次関数B-(9)	単元2 動物のなまめ D-(19)		暮らしの中で 使う陶芸作品 A-(4) B-(9)		器械運動 C-(10)		衣服の働きと 社会生活との 関わりB-(7)		いじめ撲滅スローガンB-(6)、B-(8) 職場体数学習C-(12) 合唱コンクールA-(4)、A-(6)、B-(6)、B-(8)、C-(15)	
11月	A-(5)金次郎の修行 B-(6)手のひらの小さな世界 B-(8)はだかの王様 C-(14)叱られた現場監督		さまざまな地域と結びつく 人々の暮らし B-(9)				身の周りの環境 デザインA-(4) B-(9)					Program7 If You Wish to See a Change C-(10)		定期テストA-(4)
12月	A-(3)特捜 C-(10)裁判員 C-(18)ホームステイ	ガイアの知性 D-(21)		平行と合同B-(9)		地域の人材活用 「さくらさくら」 D-(21)	身の周りの環境 デザインA-(4) B-(9)	陸上競技 長距離 A-(3)	陸上競技 長距離 A-(3)			Program8 Friendship across Time and Borders C-(18)		大掃除C-(13) 終業式A-(3)
1月	D-(20)干潟を守る C-(10)公園の除草作業 C-(11)黒ちゃんの選歌		日清戦争 C-(16)	三角形と四角形 A-(4)	単元4 気象観測 D-(21)		静物デッサン A-(4)、B-(9)	柔道 C-(17)	サッカー B-(6)		環境に配慮し、資源を大切に した衣生活 C-(16)		予備会C-(15)	始業式A-(4) 身体測定A-(2)
2月	D-(22)がまん C-(15)リレーべんとう C-(13)父さんと米作り	走れメロスA-(4)	近代文化の形成 D-(22)	確率A-(4)	単元4 前線の通過と 天気の変化 D-(21)	希望の歌声 「予備会曲」 「卒業式歌」 B-(8) C-(15)		サッカー B-(6)	柔道 C-(17)		家族と共に住 まうC-(14)	Program11 Yui-To Share Is to Live. C-(10)	予備会C-(15)	定期テストA-(4)
3月	C-(14)朝日に向かって C-(18)上総掘り				単元4 日本の気象 D-(21)		静物デッサン A-(4)、B-(9)				商品の選択と 購入C-(12)			卒業式B-(7)、C-(15) 大掃除C-(13) 修了式A-(3)

平成28年度栄中学校道徳 他教科との関連【3年】

	道徳	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育(男)	保健体育(女)	技術科	家庭科	英語	総合的な学習の時間	学校行事
4月	A-(2)試験勉強 C-(13)夜響	私A-(5)	世界恐慌と日本の中国侵略 C-(15)			歌曲の美しさ 「花」 D-(21)	工芸印箱A-(4) B-(9)、C-(17)	集団行動 C-(15)	集団行動 C-(15)	コンピュータを利用した計測と制御の基本を知るC-(17)	幼児の心身の発達C-(14)		修学旅行B-(6)、D-(21)、C-(17)	始業式A-(4) 身体測定A-(2)
5月	B-(9)十五歳 B-(8)串焼き屋の幸一 D-(19)国境を越えて C-(17)修学旅行			因数分解A-(4)				バレーボール B-(6)			幼児の心身の発達C-(14)		修学旅行B-(6)、D-(21)、C-(17)	修学旅行B-(6)、D-(21)、C-(17)
6月	A-(4)あすにかける橋 B-(6)マーチングフェスティバル D-(21)アサヒビネ C-(11)そのいじり、大丈夫?	無言館の青春 C-(18)	私たちの生活と文化 C-(15)						バレーボール B-(6)	ビートルユーザーを使ったプログラミングを行うB-(8)	遊びと成長の関わりB-(6)	Program3 The 5R to save the earth. C-(10)	修学旅行B-(6)、D-(21)、C-(17)	定期テストA-(4)
7月	A-(2)見知らぬ恋人 B-(6)重なりあう手と手 C-(16)三香瀬			2次方程式B-(9)	単元2 生命のつながり D-(19)	合唱コンクールに向けて「課題曲」「自由曲」	工芸印箱A-(4) B-(9)、C-(17)				名札を作ろう B-(6)	Program4 Faithful Elephant. D-(19)		大掃除C-(13) 終業式A-(3)
9月	B-(8)寝息 A-(1)体育祭 C-(17)新能				単元3 自然界のつながり D-(19)		工芸印箱A-(4) B-(9)、C-(17)	柔道 C-(17)		調べた情報をもとにレポートを作成することができるA-(4)	名札を作ろう B-(6)		合唱コンクールA-(4)、A-(5)、B-(6)、B-(8)、C-(15)	始業式A-(4) 身体測定A-(2) 体育祭B-(8)、C-(15) 定期テストA-(4)
10月	C-(10)祭りのあとで D-(22)ゴンさんの苗 C-(11)後悔 C-(14)手のひらのヒストリー		地方政治と自治 C-(11)	関数 $y=ae^x$ B-(9)			道A-(4) B-(9)		柔道 C-(17)	情報モラルについて考えることができるB-(7)、C-(10)	幼児と関わり、成長を振り返るB-(6)D-(19)	Program6 Let's talk about Japanese things. C-(17)	いじめ撲滅スローガンB-(6)、B-(8) 合唱コンクールA-(4)、A-(6)、B-(6)、B-(8)、C-(15)	
11月	B-(6)ビューティフル・ボーイズ C-(12)加山さんの願い D-(19)いのちのつながりー機器移植 C-(14)家族のはなし	最後の一句 C-(14)	生産と労働 C-(15)		単元5 地球と宇宙 D-(22)						幼児と関わり、成長を振り返るB-(6)D-(19)	Program7 What is the most important thing to you. C-(18)		定期テストA-(4)
12月	A-(3)給食万歳! D-(21)アサヒビネ C-(18)この地球(ほし)に生まれて	故郷A-(1)、 C-(11)		相似な図形 B-(9)	単元5 地球と宇宙 D-(22)		陸上競技 長距離 A-(3)		陸上競技 長距離 A-(3)				道路学習A-(4)	大掃除C-(13) 終業式A-(3)
1月	A-(5)星に誓うー伊能忠敬 B-(7)Vサイン C-(11)峠		国際問題とわたしたち文化の多様性 D-(21)	円A-(4)	単元6 地球の明るい未来のために D-(21)、(3) C-(18)		道A-(4) B-(9)	ダンス A-(5)	ダンス A-(5)		おやつをつくらうA-(2)C-(14)	Program9 Education First. C-(18)	道路学習A-(4)	始業式A-(4) 身体測定A-(2)
2月	A-(3)いすみ橋枝誕生 D-(22)津田橋子 C-(10)タイムスリップ	花を贈るD-(19)、自分自身にA-(3)	持続可能な社会 B-(9)	三平方の定理 A-(4)		心に残る歌声「卒業式歌」 A-(4) B-(8) C-(15)	道A-(4) B-(9)	卓球 B-(6)	卓球 B-(6)	プレゼンテーションを行い、感想を述べ合うことができるB-(9)	おやつをつくらうA-(2)C-(14)		道路学習A-(4)	高校受験A-(4)
3月	B-(7)招待状 C-(15)卒業メッセージ													卒業式A-(5)、B-(6)、C-(15)